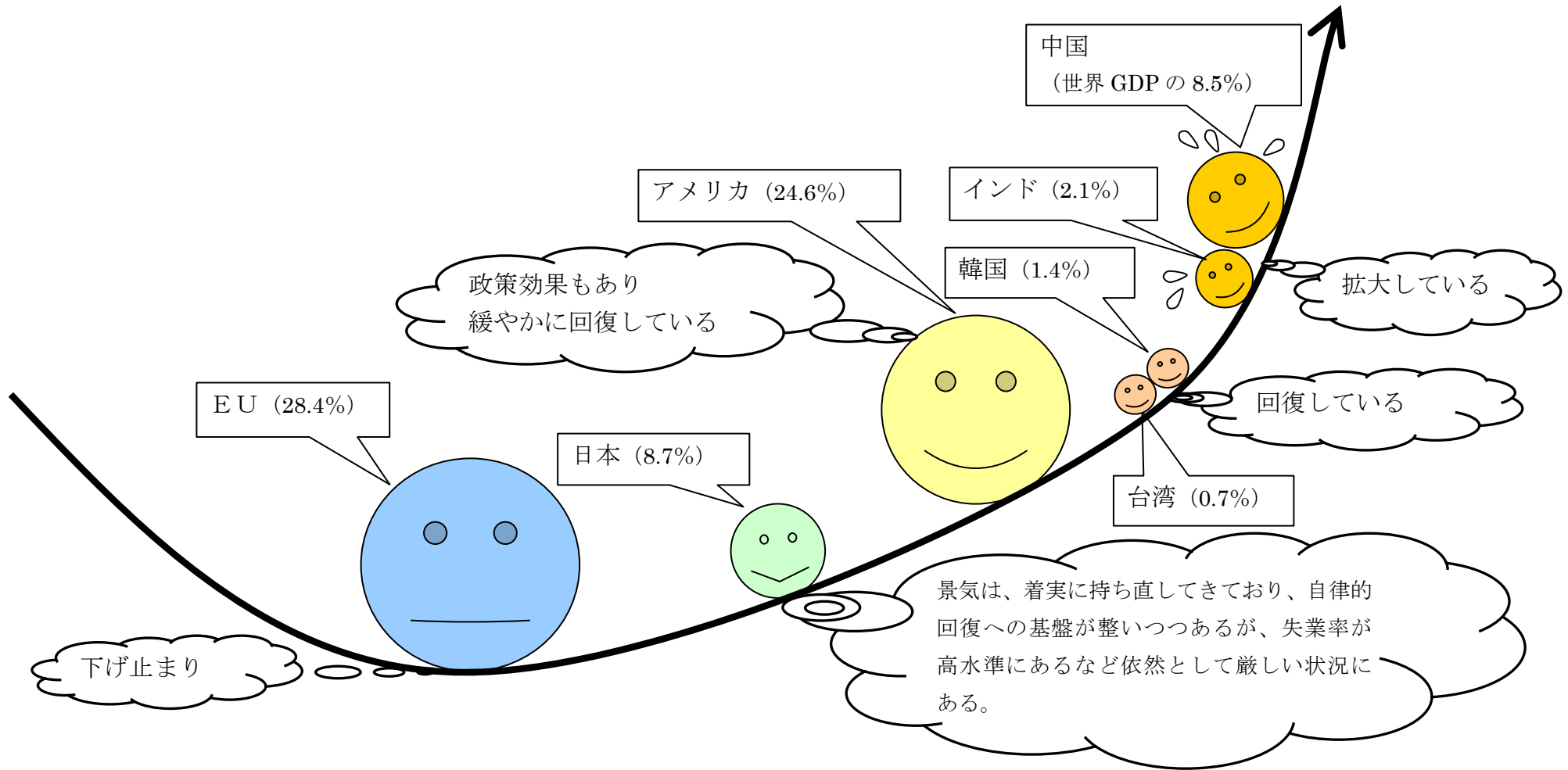


海外の主要経済指標

平成22年7月5日
内閣府

6月の月例経済報告

世界の景気は、景気刺激策の効果もあって、緩やかに回復している。

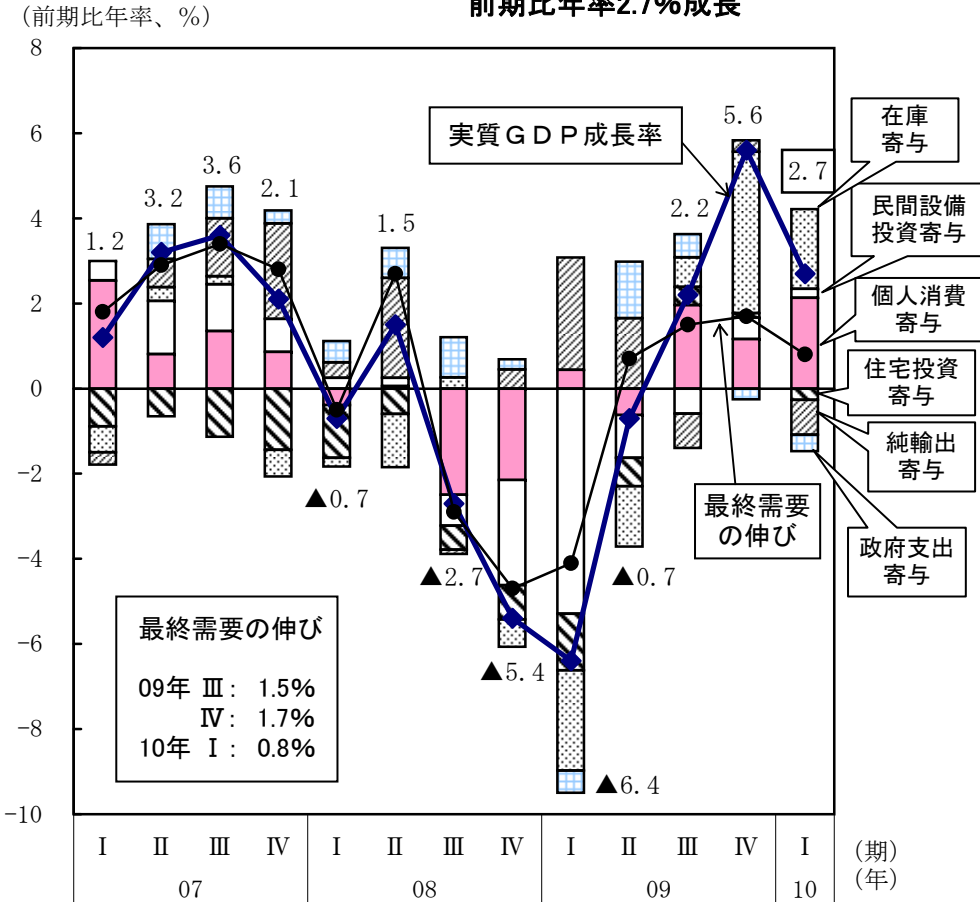


(注) 各国の景気の現状について、その方向性に注目して相互関係を模式化したものである。

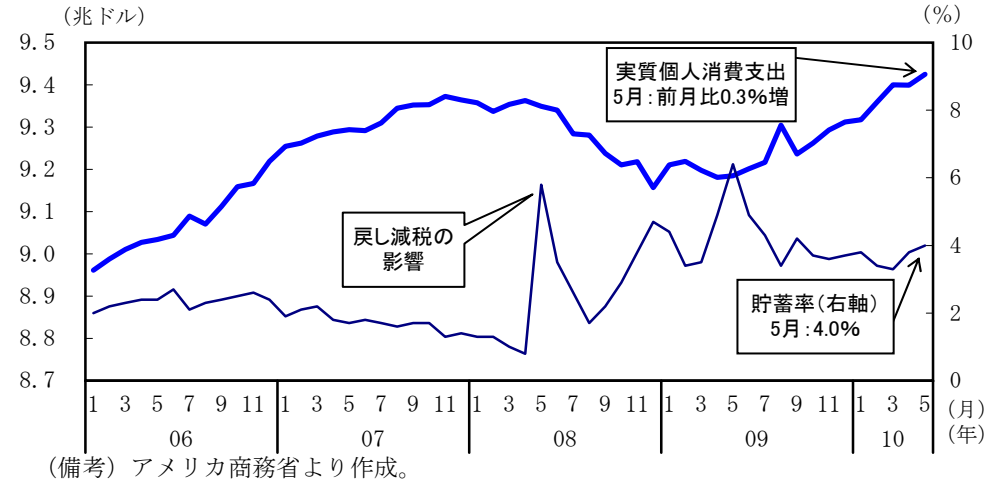
1. アメリカ

- アメリカでは、失業率が高止まるなど下押し要因は依然としてあるものの、政策効果もあり、景気は緩やかに回復している。
- 先行きについては、基調としては緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、信用収縮や高い失業率が継続すること等により、景気回復が停滞するリスクがある。

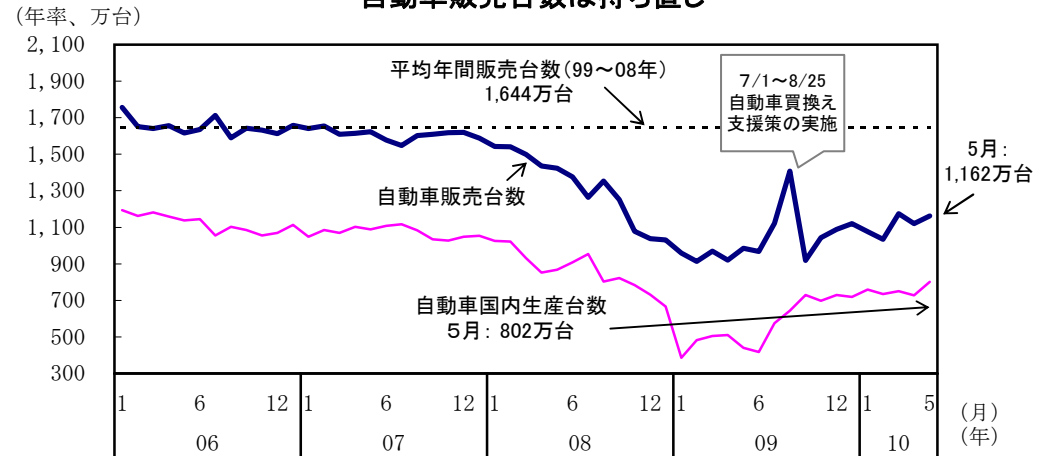
**GDP(第三次推計値):2010年1~3月期は
前期比年率2.7%成長**



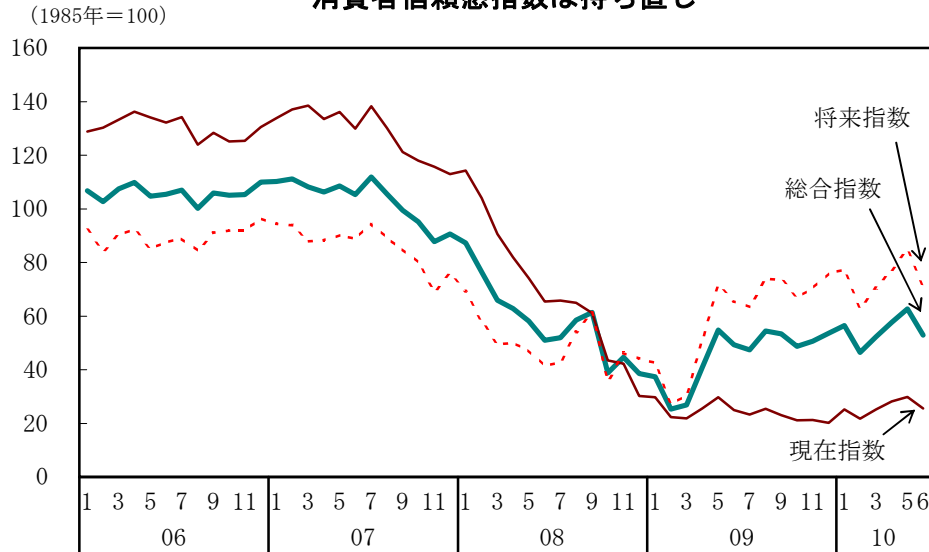
消費:消費は持ち直し



自動車販売台数は持ち直し

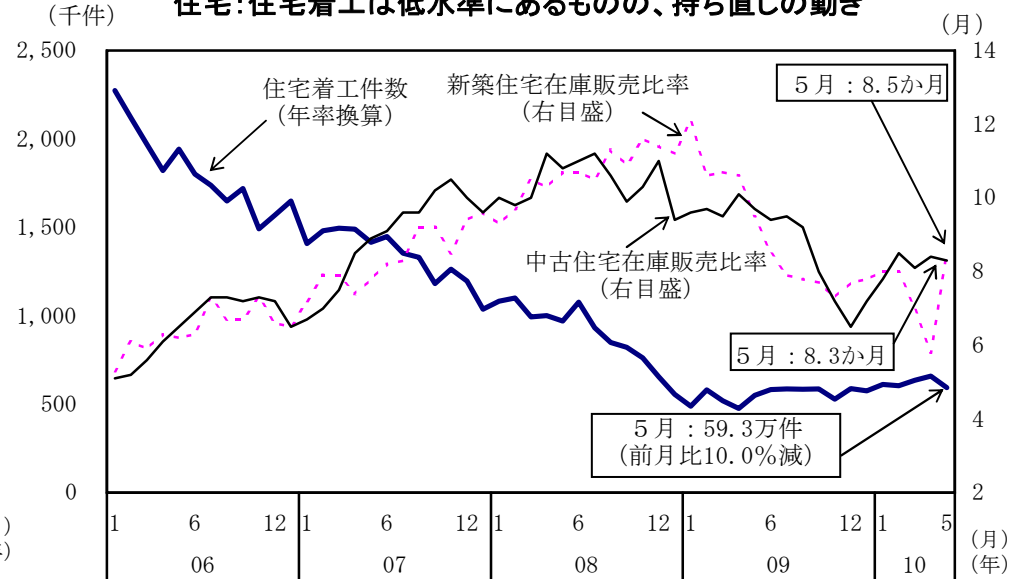


消費者信頼感指数は持ち直し



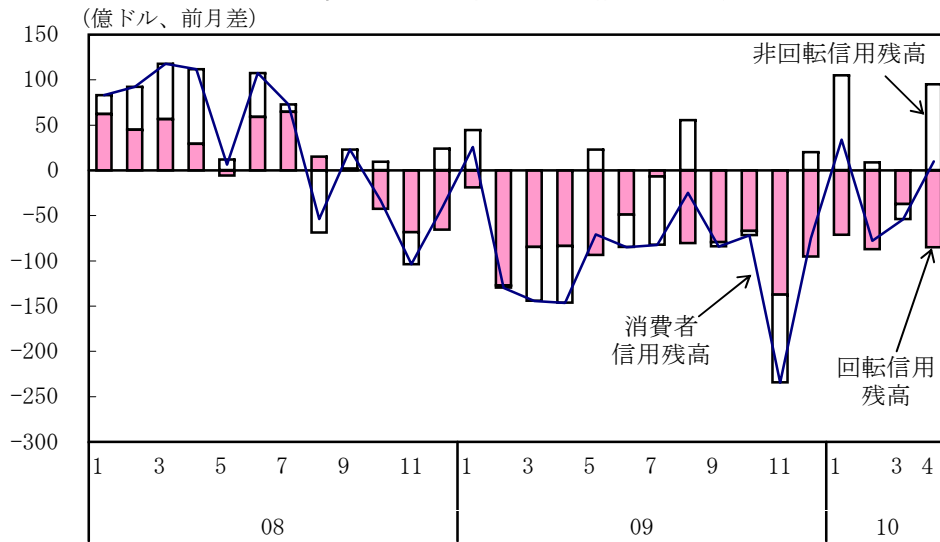
(備考) 1. コンファレンス・ボードより作成。
2. 「将来指数」は6か月後の見通し。

住宅:住宅着工は低水準にあるものの、持ち直しの動き



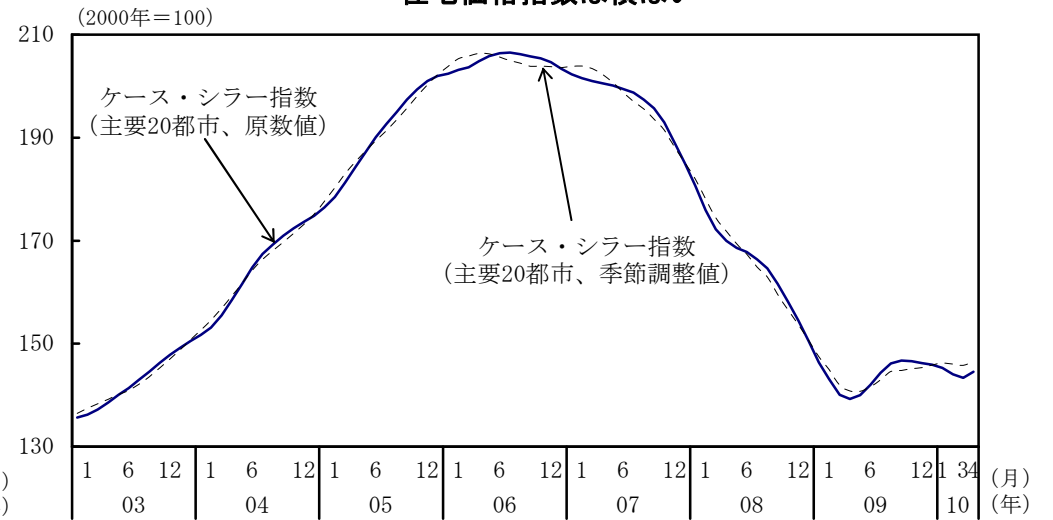
(備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。
2. 在庫販売比率は、現在の住宅販売に対して何か月分の住宅在庫があるかを示す。

消費者信用残高は減少幅が縮小傾向



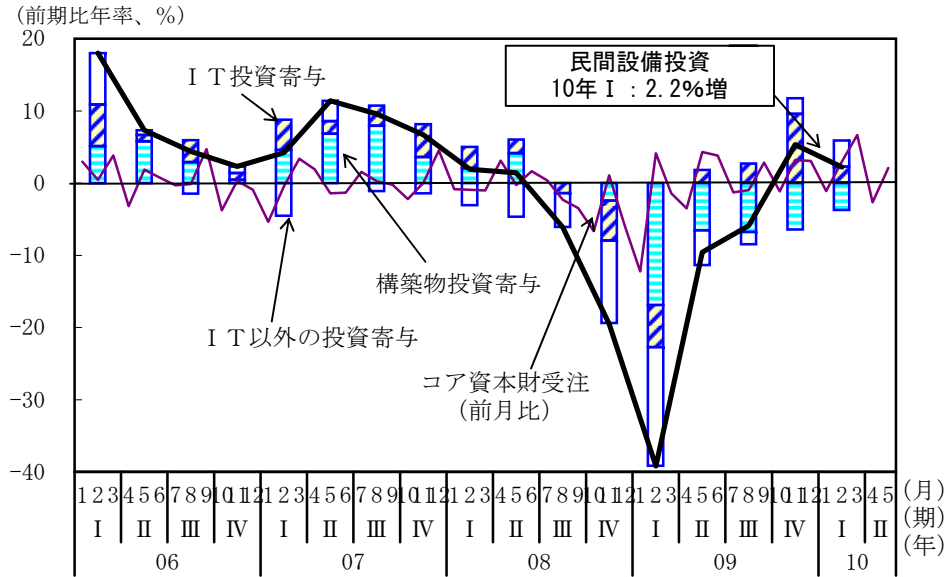
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

住宅価格指数は横ばい



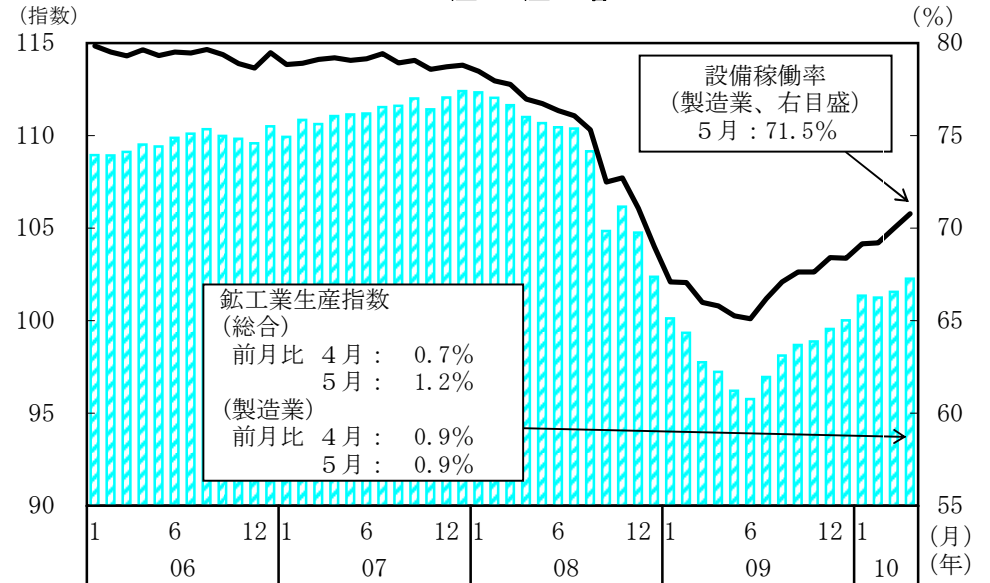
(備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

設備投資:設備投資は緩やかに増加



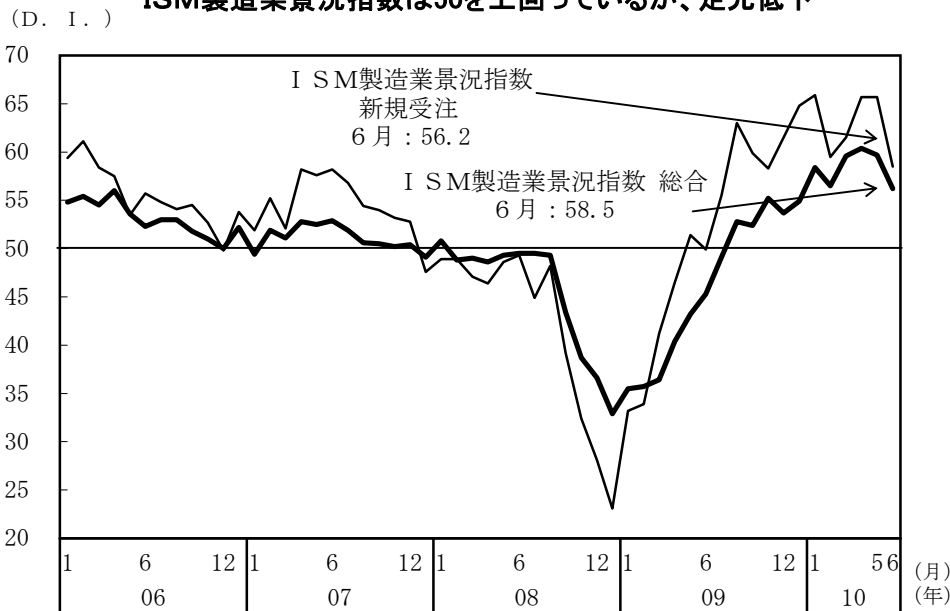
(備考) アメリカ商務省より作成。

生産:生産は増加



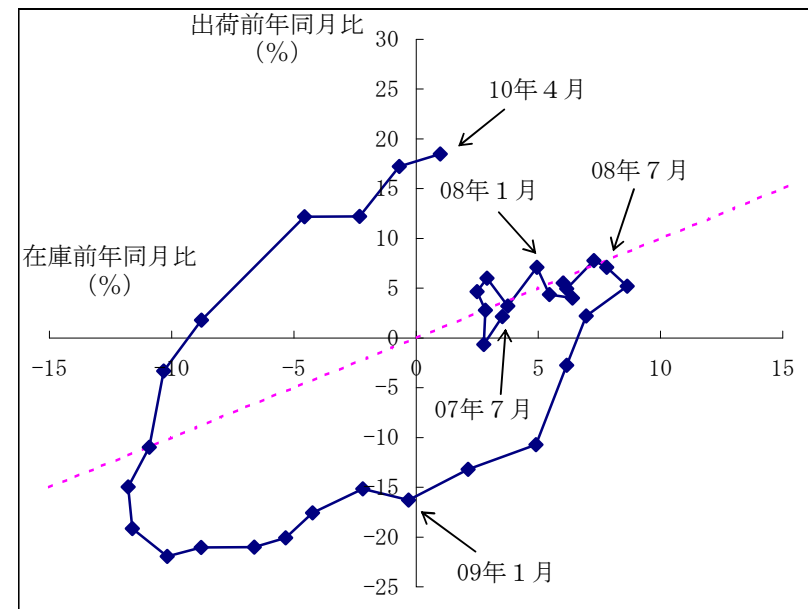
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

ISM製造業景況指数は50を上回っているが、足元低下



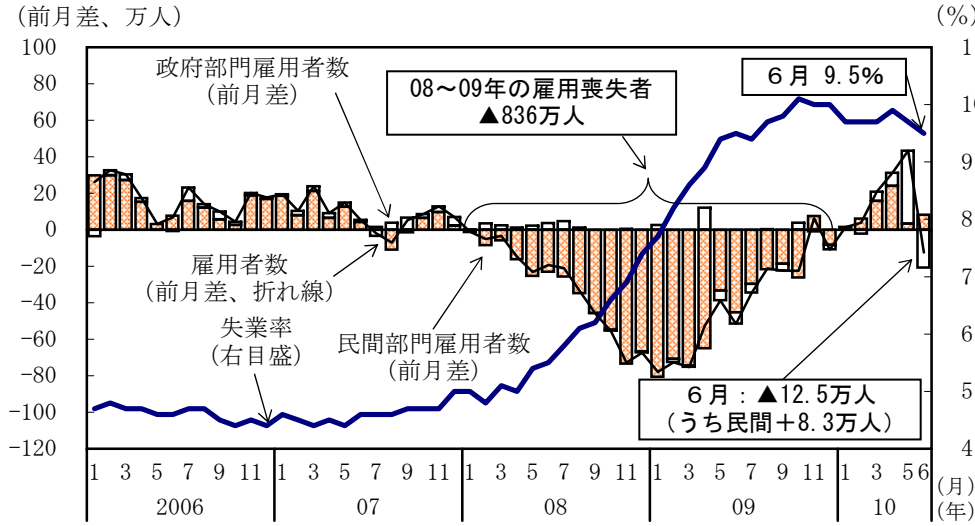
(備考) 全米供給管理協会 (ISM) より作成。

在庫循環図(製造業)



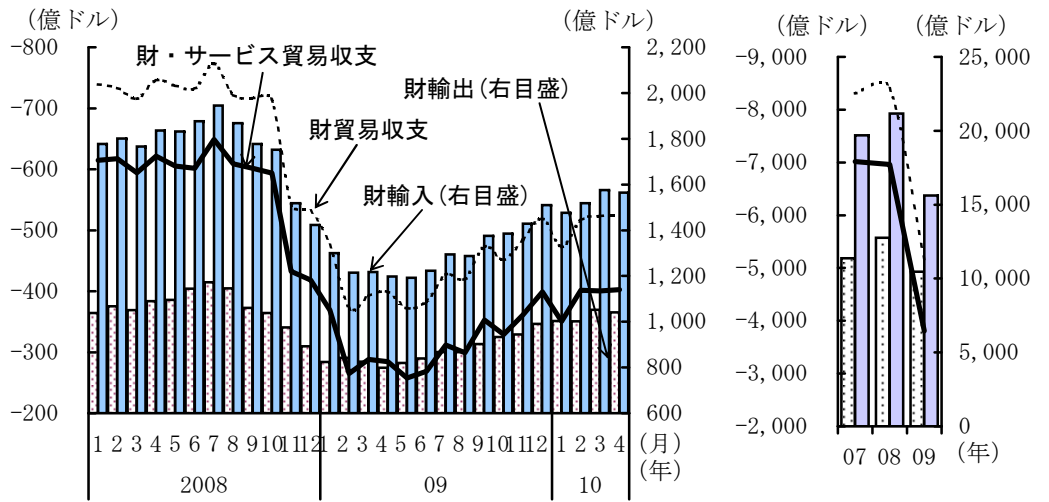
(備考) アメリカ商務省より作成。

雇用：雇用者数は増加しているが、失業率は10%近傍の高い水準



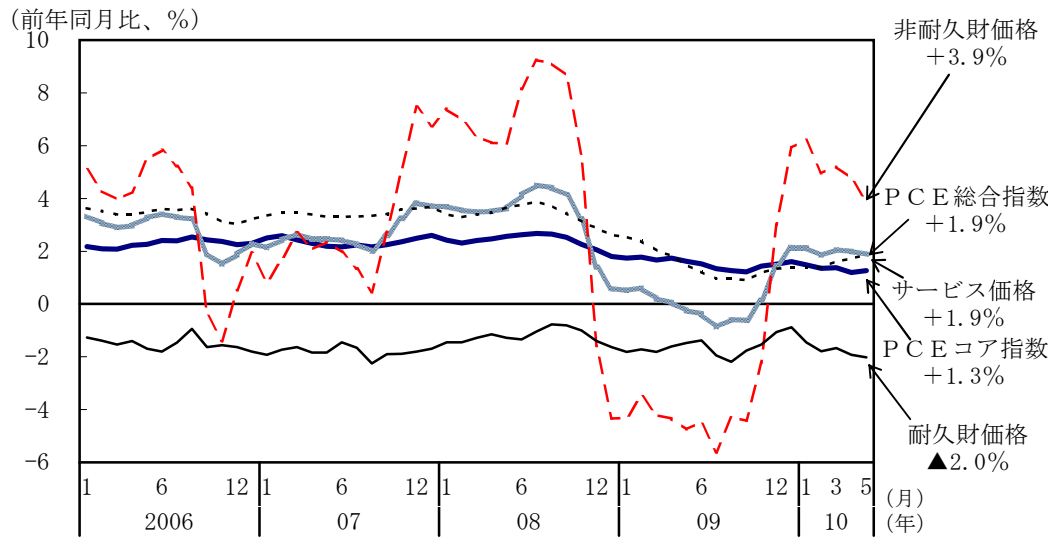
(備考) アメリカ労働省より作成。雇用者数は非農業部門。

貿易：財輸出は増加



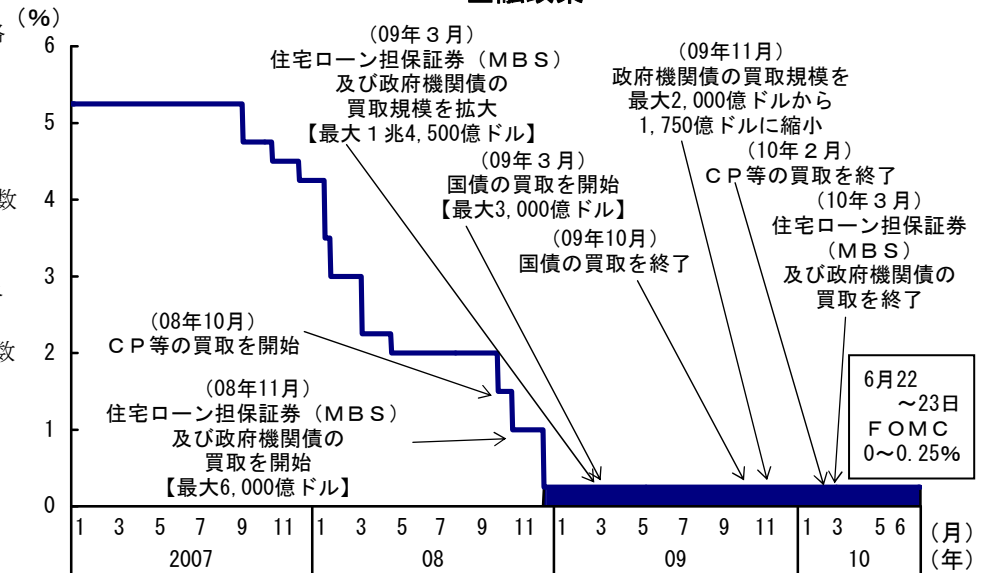
(備考) アメリカ商務省より作成。

物価：コア物価上昇率はやや低下



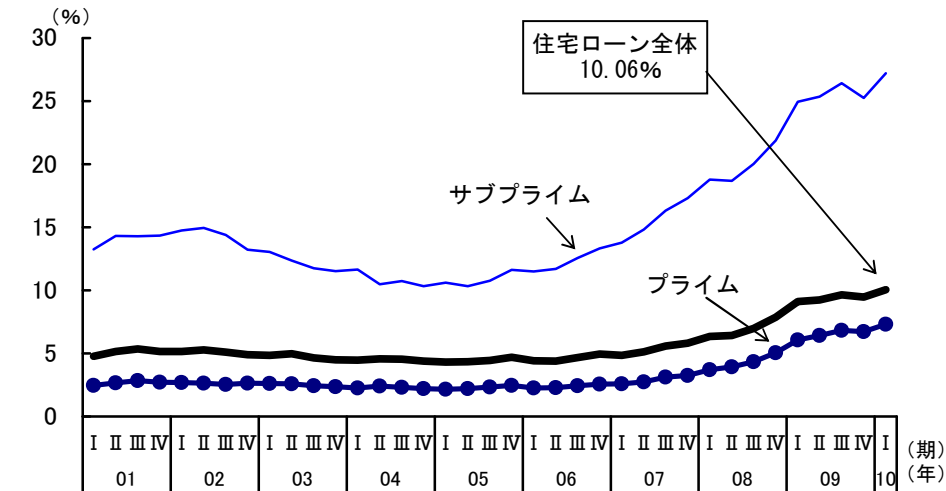
(備考) 1. アメリカ商務省より作成。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食料を除いた指数である。

金融政策



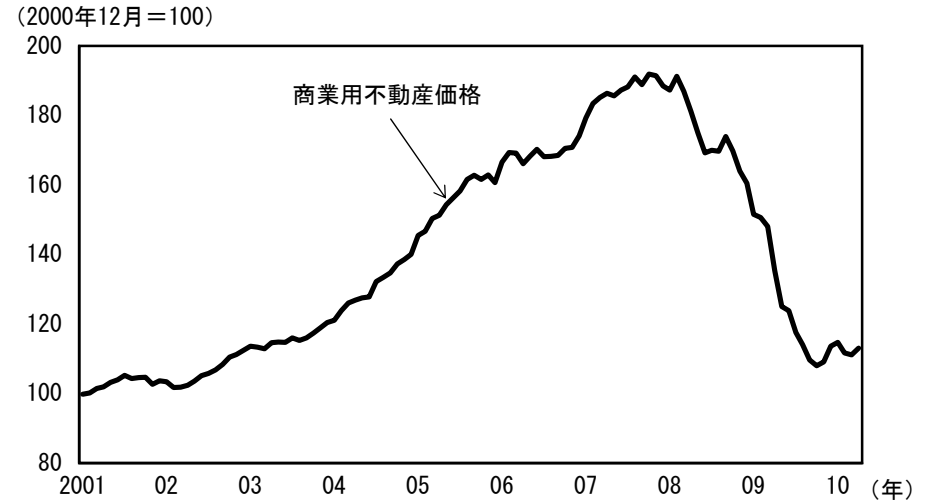
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

住宅ローン全体の返済延滞率：延滞率は過去最高



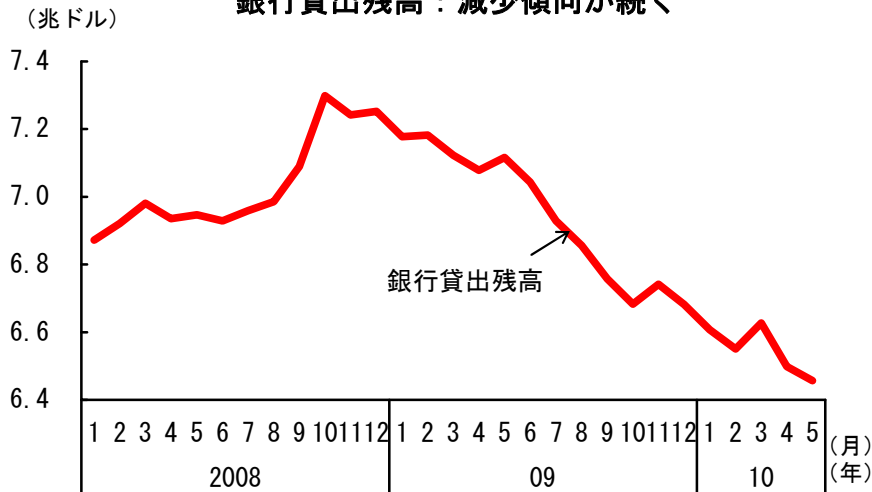
(備考) 1. 米国抵当貸付銀行協会 (MBA) より作成。
 2. 住宅ローン返済延滞率は、住宅ローン全体に占める30日以上延滞の住宅ローン件数の割合。季節調整値。差押え手続きに入ったものは除く。

商業用不動産価格：下げ止まりの兆し



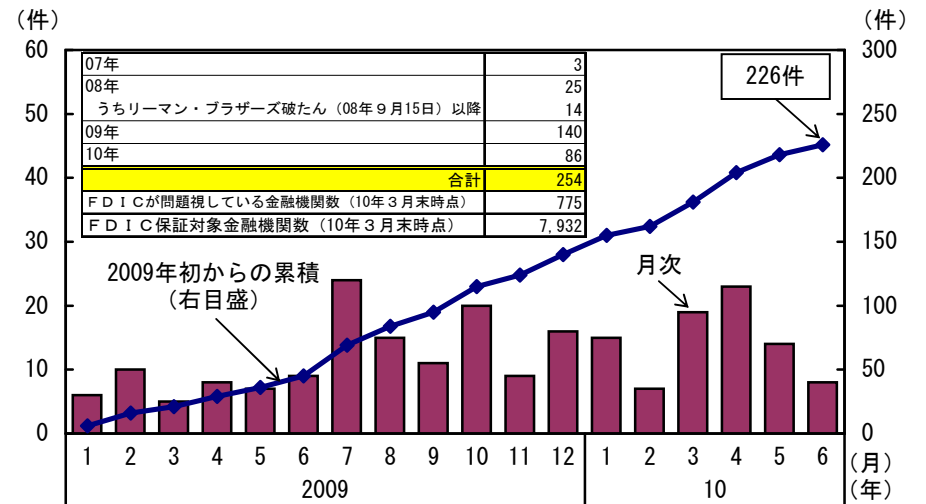
(備考) ムーディーズ (Moody's/REAL Commercial Property Index) より作成。

銀行貸出残高：減少傾向が続く



(備考) 1. FRBより作成。
 2. 10年4月以降、これまでオフバランスであった一部の資産及び負債がバランスシート上に統合された。10年4月以降の値は、その影響を差し引いた試算値。

銀行の破たん状況：2010年に入って86行が破たん



(備考) 1. アメリカ連邦預金保険公社 (FDIC) より作成。
 2. 10年6月25日時点。
 3. 対象：預金取扱金融機関 (銀行及び貯蓄金融機関)

アメリカの民間エコノミストに対するアンケート調査

(1)「欧州財政危機の影響により、アメリカの経済見通しを引き下げたか」

はい 33.3%
いいえ 66.7%

(2)「アメリカの経済成長に対する欧州財政危機の主要なリスクは、
①欧州向け輸出の鈍化、または、②信用収縮(株価下落や貸出減少等)のどちらによってもたらされると思うか」

①欧州向け輸出の鈍化 30.6%
②信用収縮 69.4%

主要国際機関等による見通し

(前年比、%)

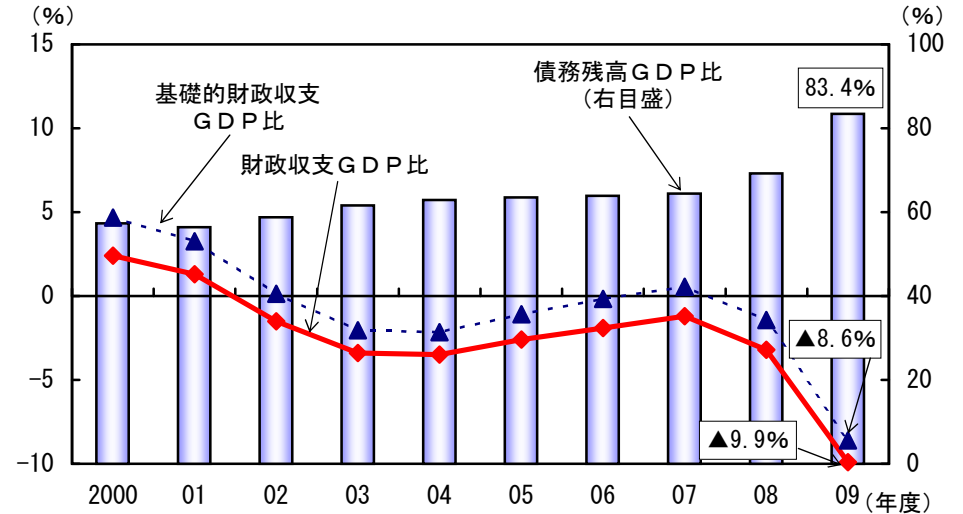
	2010年	11年
行政管理予算局 (OMB) (2月1日)	2.7	3.8
議会予算局 (CBO) (1月26日)	2.2	1.9
OECD (5月26日)	3.2	3.2
IMF (4月21日)	3.1	2.6
ブルーチップ (民間見通し平均) (6月10日)	上位10社	3.5
	平均	3.3
	下位10社	3.0

(前期比年率、%)

	2010年			11年			
	II	III	IV	I	II	III	IV
OECD (10年5月26日)	3.4	2.8	2.7	3.1	3.4	3.5	3.7
ブルーチップ (民間見通し平均)	3.5	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2

(備考) アメリカ商務省、アメリカ行政管理予算局 (10年2月1日)、アメリカ議会予算局 (10年1月26日)、IMF “World Economic Outlook” (10年4月21日)、OECD “Economic Outlook 87” (10年5月26日)、ブルーチップ・インディケータ (10年6月10日号) より作成。

連邦政府の財政状況



(備考) アメリカ行政管理予算局 (OMB) より作成。

2012年度予算要求にかかる指示事項の発出

2010年6月8日、行政管理予算局 (OMB) は、各省庁に対し、2012年度 (11年10月～12年9月) 予算要求に当たっての指示事項を発出。

<主な内容>

- 各省庁 (安全保障関連除く) は、2011年度予算における裁量的経費から5%削減した予算要求を提出する。また、削減対象となる優先度の低い事業をリストアップし、提出する。
- 5%削減に当たり、一律的な削減は不可。重複のある事業や非効率な事業の見直し、IT化や財務管理の強化等、戦略的な見直しを求める。
- 義務的経費についても、2011年度予算と同水準の節減を求める。なお、2010年Pay-As-You-Go法 (10年2月成立) に基づき、義務的経費を増加させる場合は、別の経費を削減する。
- また、安全保障関連省庁についても、厳格な目標を課す。

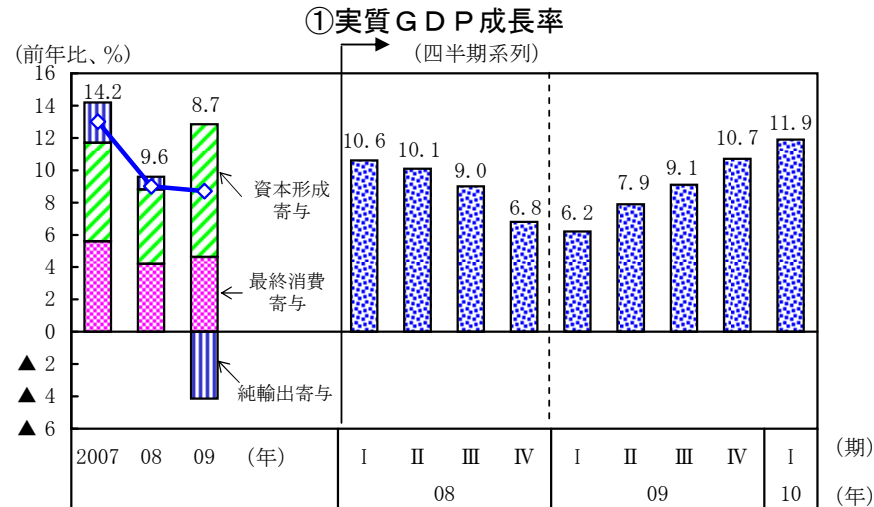
※各省庁の12年度予算要求の提出期限は、2010年9月13日となっている。

2. アジア地域

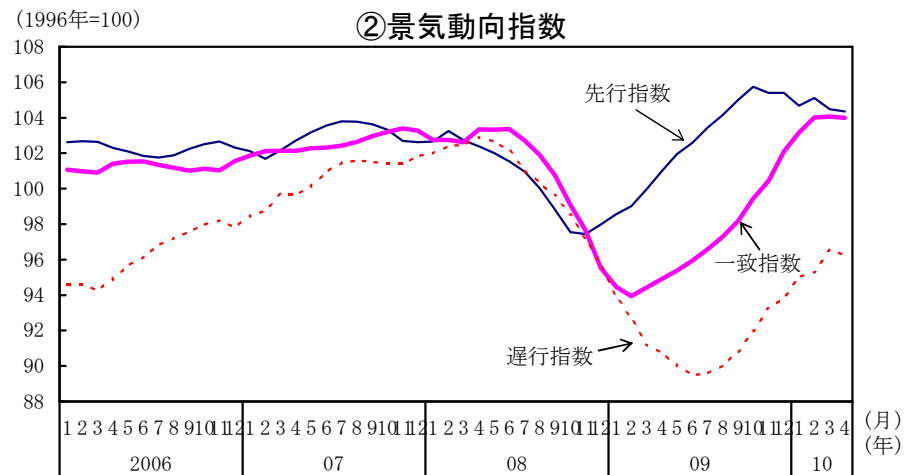
中国：○中国では、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に拡大している。

○先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。

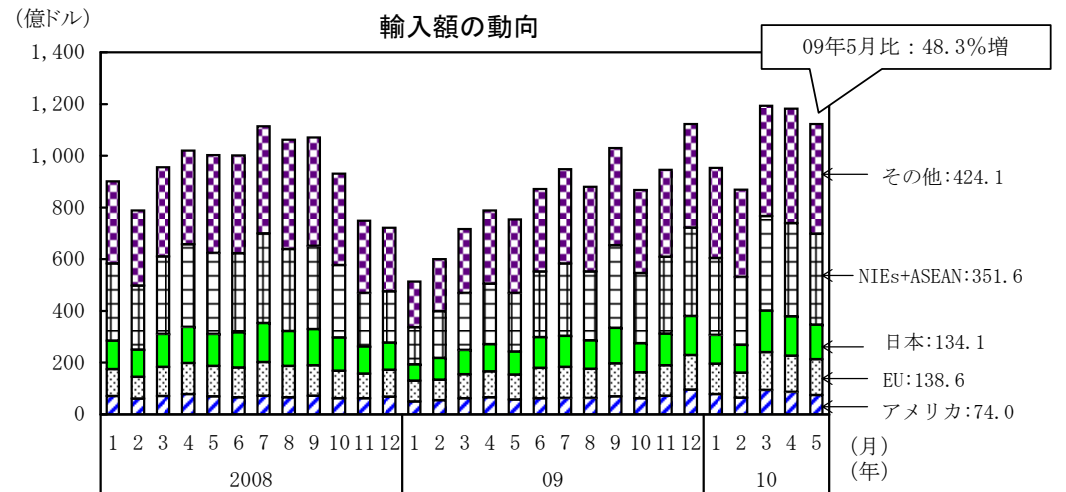
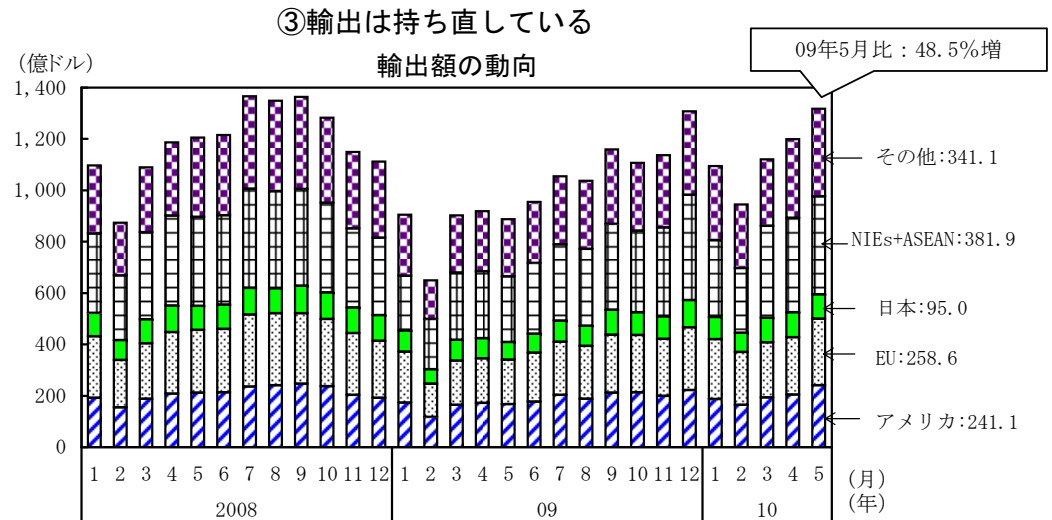
ただし、マネーサプライの急増によるリスクには留意する必要がある。



(備考) 1. 中国国家统计局より作成。
2. 中国人民銀行の試算によると、中国の前期比年率のGDP成長率は、08年10-12月期4.3%、09年1-3月期9.5%、4-6月期11.4%、7-9月期11.0%、10-12月期11.3%、10年1-3月期12.2%。



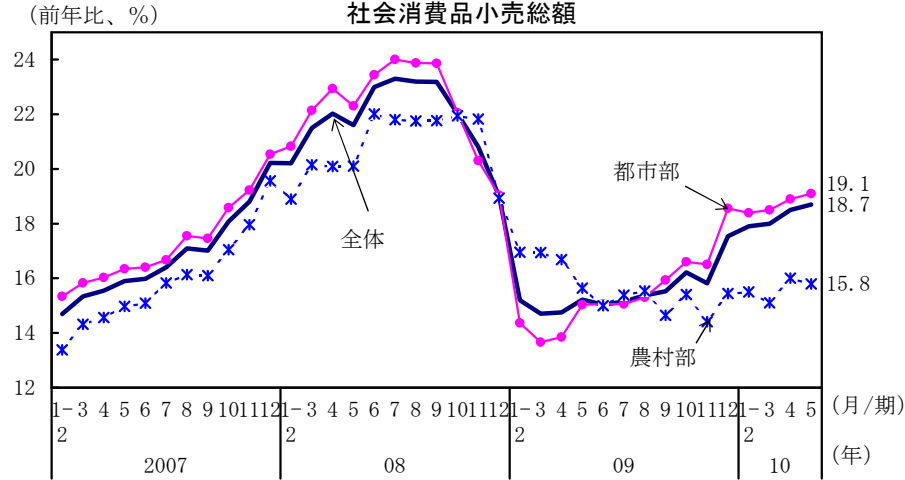
(備考) 1. 中国国家统计局より作成。
2. 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。



(備考) 1. 中国海関総署より作成。
2. グラフは原数値。

④消費は堅調に増加

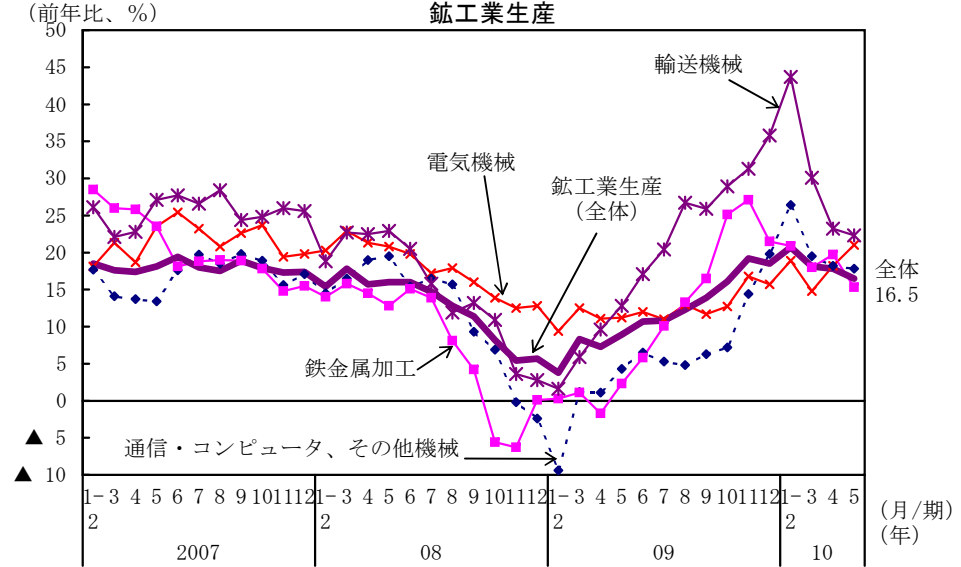
社会消費品小売総額



- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 09年のシェアは、都市部68%、農村部32%。
 3. 中国では、消費刺激策として、排気量1.6 l以下の乗用車の車両取得税の減税(09年1月～10%→5%、なお10年1月からは7.5%)、農村における家電の普及政策(「家電下郷」)の全国展開(09年2月～)、農村における自動車の普及政策(「汽車下郷」)(09年3月～)を実施している。さらに、09年6月から、自動車の買換え促進策や、9省・市において試験的に家電の買換え促進策を実施している(「以旧換新」)。

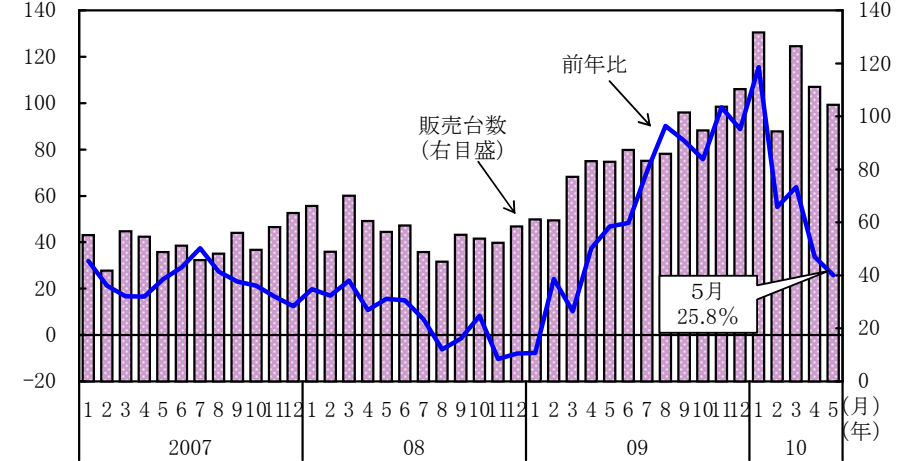
⑤生産は増加している

鉱工業生産



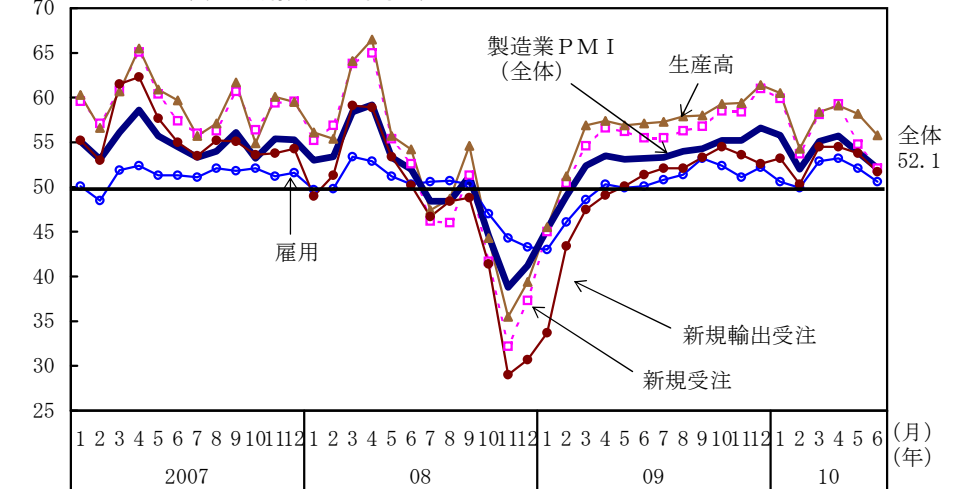
(備考) 中国国家統計局より作成。

乗用車販売台数は政策効果もあり大幅に増加



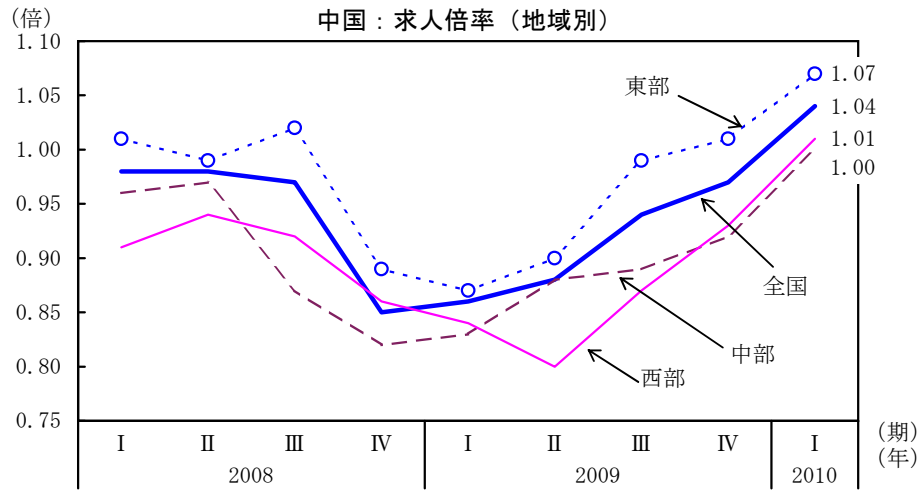
- (備考) 1. 中国汽车工業協会より作成。
 2. 春節(旧正月)は、08年2月6～12日、09年1月25～31日、10年2月13～19日。
 3. 2009年の販売台数は約1033万台。

製造業購買担当者指数(PMI)はこのところやや低下



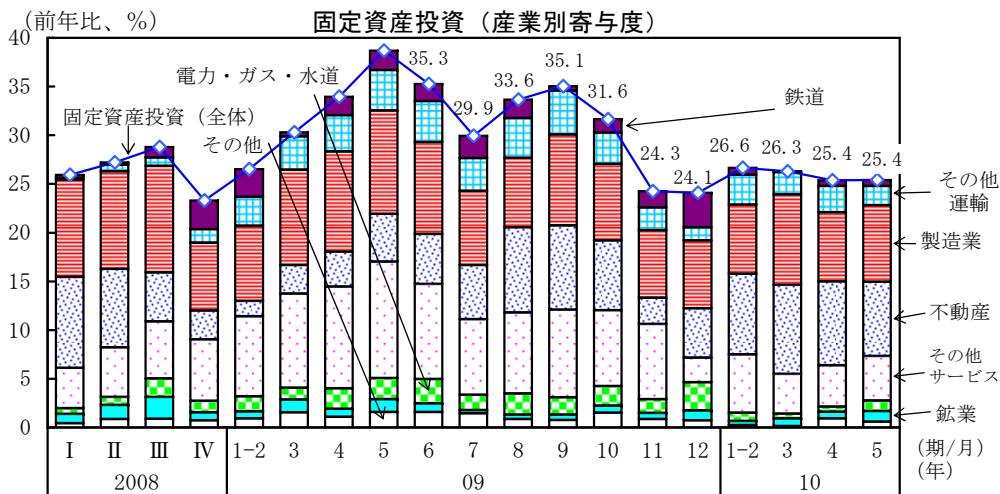
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 製造業PMIは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業PMI(全体)は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。PMIが50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

⑥労働需給はひっ迫傾向



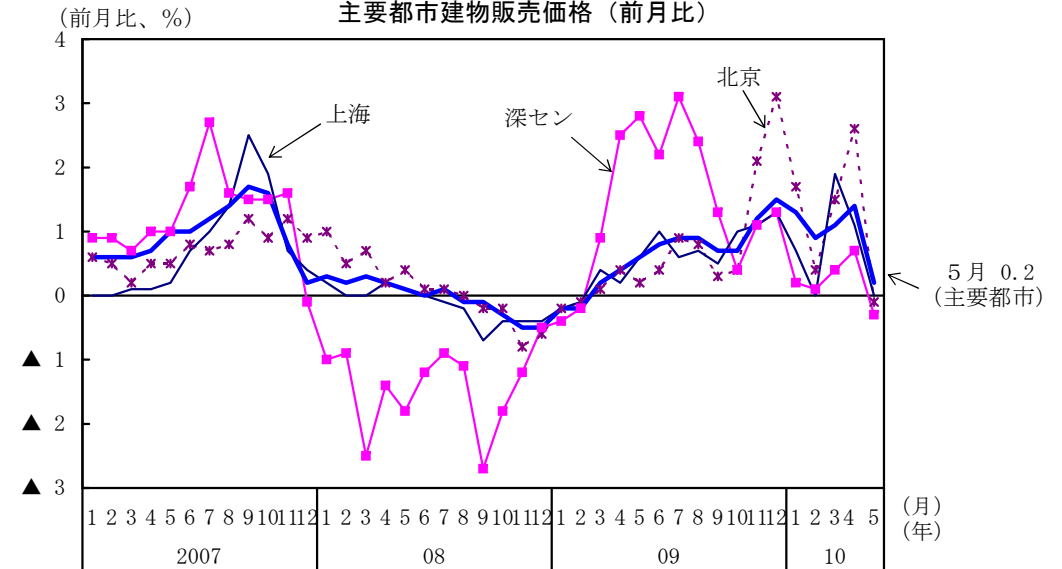
(備考) 1. 中国人力資源社会保障部より作成。
2. 東部は、珠江デルタ、長江デルタ、環渤海などの沿海部都市を含む地域。中部地域は、河南省、湖北省等。西部は、重慶、四川省等。

⑦固定資産投資は高い伸びが続いている



(備考) 1. 中国国家统计局「都市部固定資産投資」より作成。
2. 県以上のレベルの政府機関、企業等によって実施される投資プロジェクトで、中国全体における固定資産投資の86%（09年）を占める。
3. 不動産開発投資については、09年11月に土地購入費に関する統計の変更が行われた。

主要都市建物販売価格（前月比）

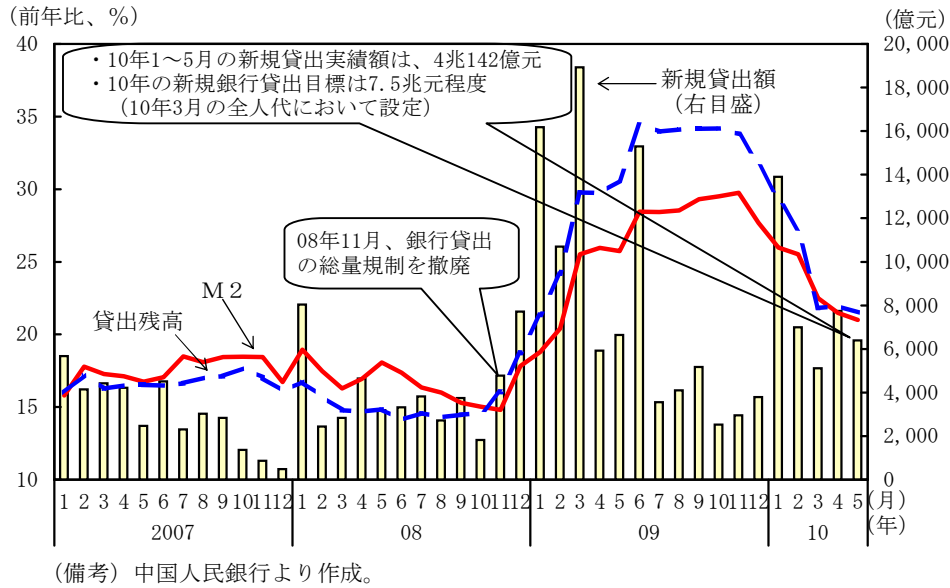


(備考) 中国国家统计局より作成。

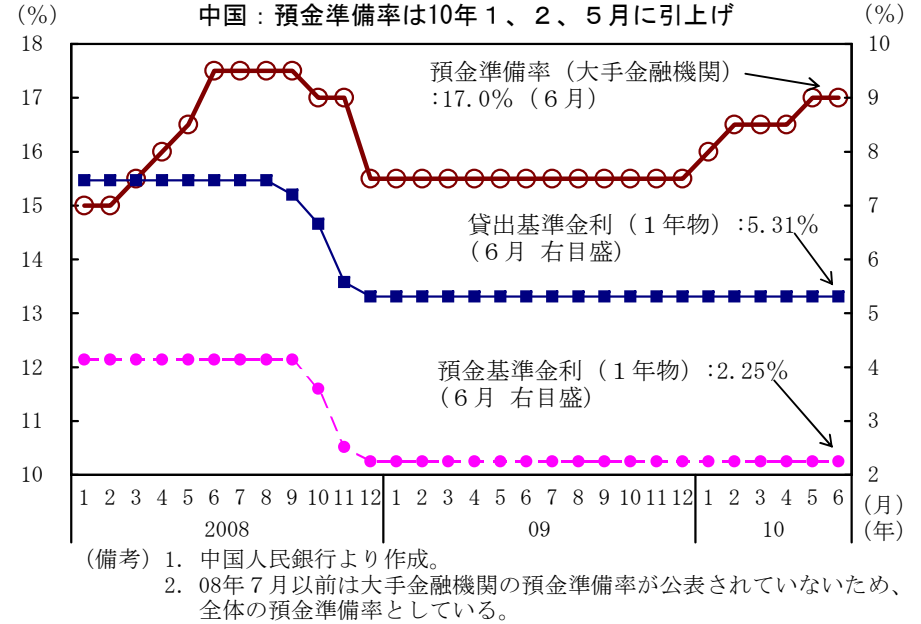
中国：最近の不動産関連引締め策

- 2009年12月以降、中国政府は相次いで不動産関連引締め策を打ち出す。
- 2010年4月17日には、以下の住宅向け貸出抑制策を発表。
 - ・ 1軒目の住宅購入時の頭金比率を30%以上。
 - ・ 2軒目を購入時の頭金比率は50%以上、貸出金利は基準金利の1.1倍以上。
 - ・ 3軒目以上の住宅購入時の頭金比率と貸出金利は大幅に引上げ。
 - ・ 住宅価格が高騰し供給がひっ迫している地域においては、3軒目以上の住宅購入資金の貸付けを一時中止できる。
 - ・ 当該地域に1年以上居住した証明がない者への住宅購入資金の貸付けを一時中止できる。
- 2010年5月31日、中国政府は徐々に不動産税改革を進める方針を示した。

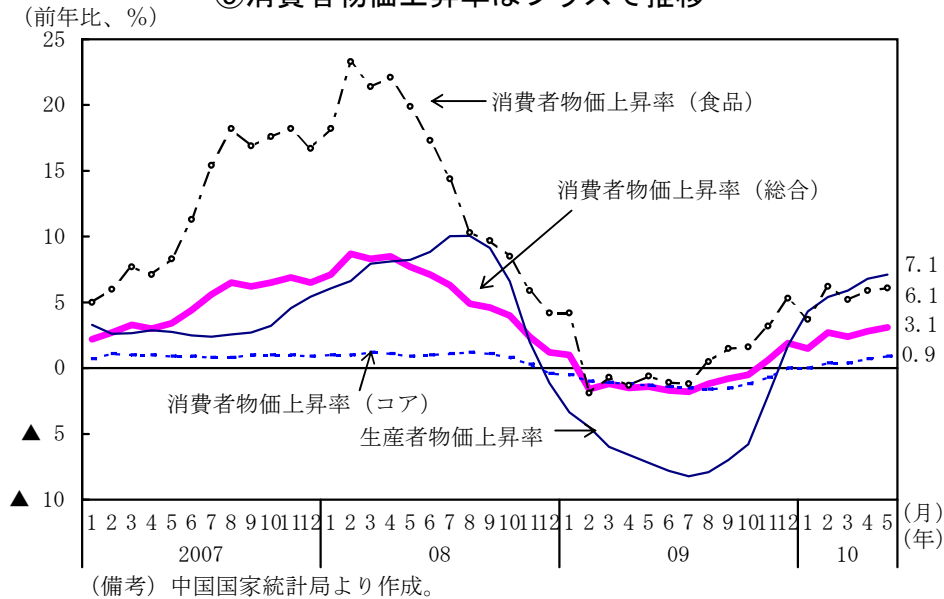
⑧ マネーサプライは、減速しつつも高い伸び



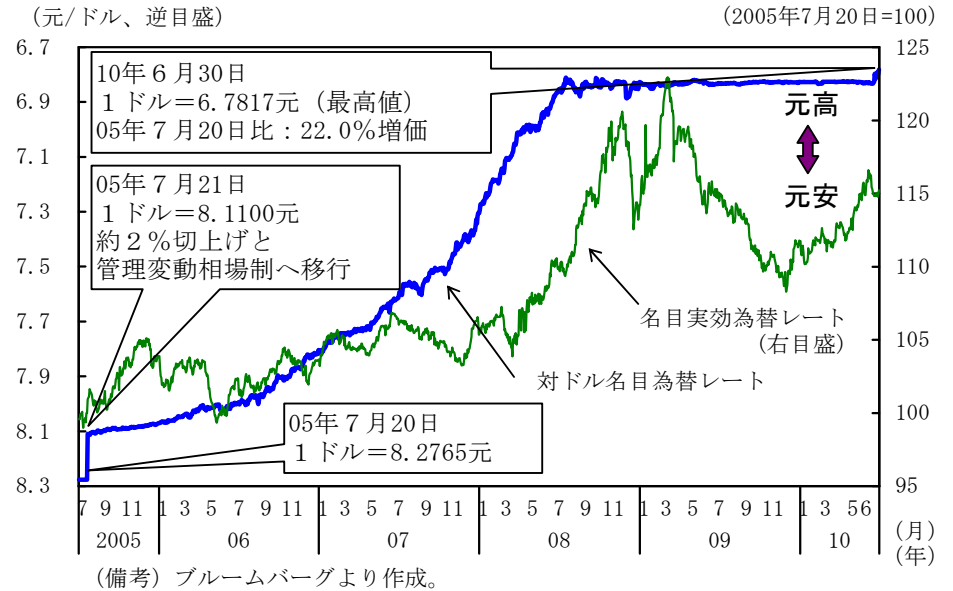
⑩ 金融政策の動向



⑨ 消費者物価上昇率はプラスで推移



人民元は10年6月19日に柔軟性を高めることを決定

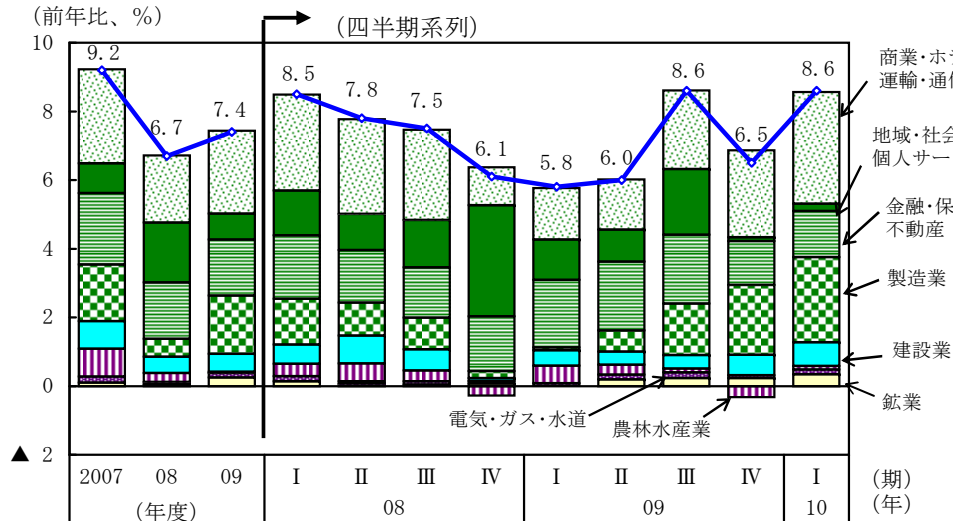


インド：

○インドでは、景気は内需を中心に拡大している。

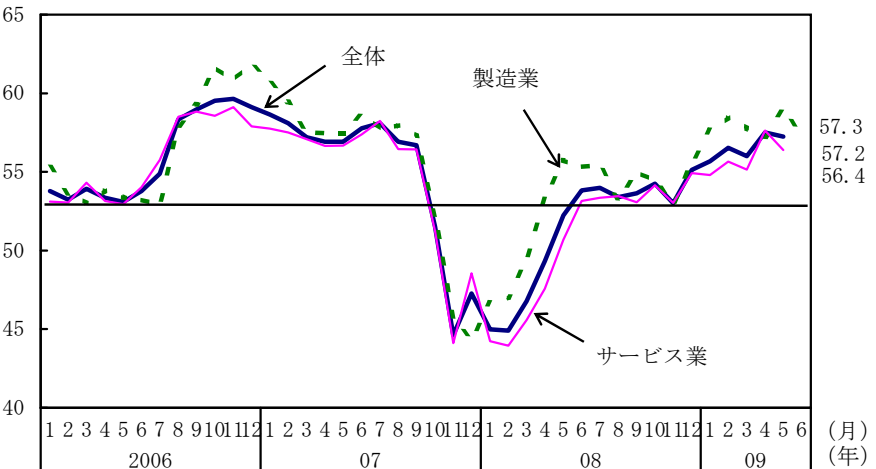
○先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。
ただし、物価上昇によるリスクには留意する必要がある。

①実質GDP成長率



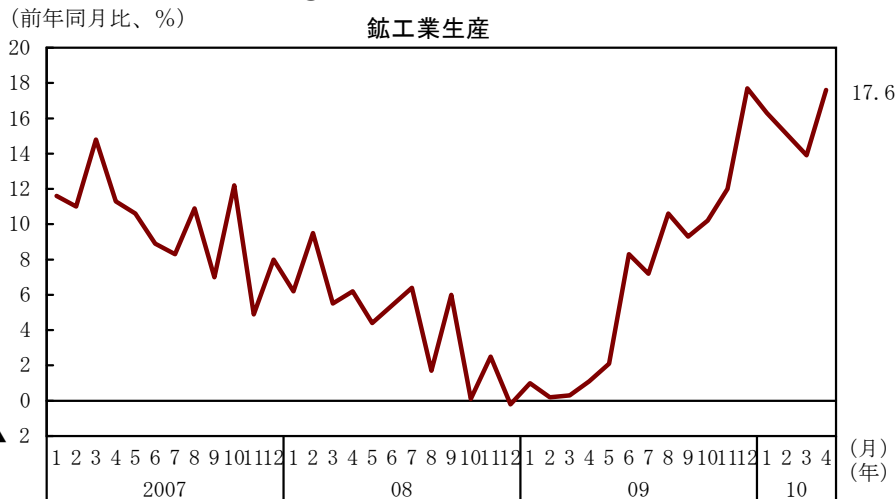
(備考) 1. インド中央統計局より作成。
2. 年度は財政年度(4月～翌年3月)による。

②購買担当者指数 (PMI) は堅調に推移



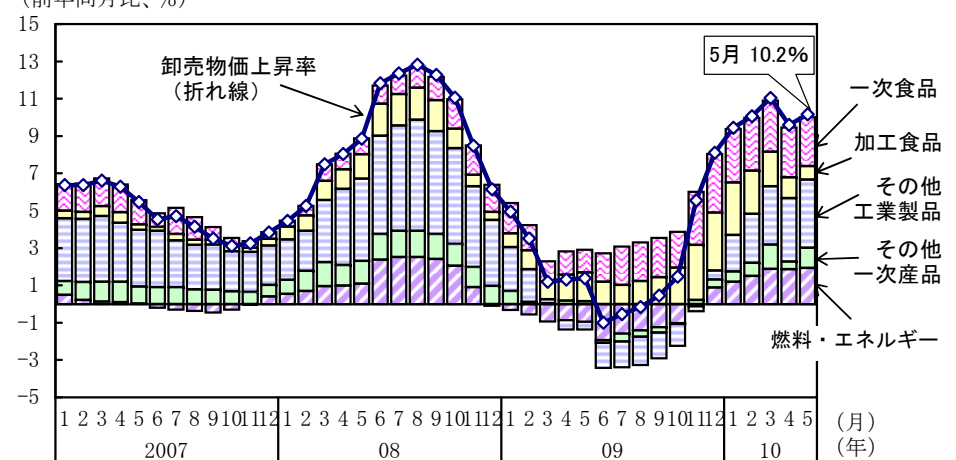
(備考) 1. マークイット社より作成。
2. PMIが50より高ければ、「改善」と回答した企業の割合が多いことを表す。
3. 全体指数は、製造業指数、サービス業指数それぞれをGDPシェアで加重平均して合成したもの。

③生産は増加している



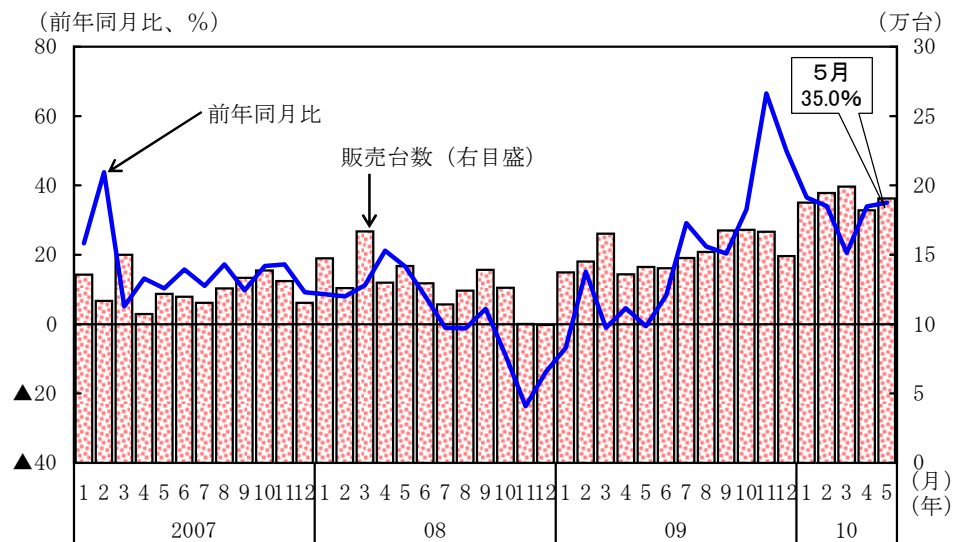
(備考) インド中央統計局より作成。

④卸売物価上昇率は高まっている



(備考) 1. インド商工省より作成。
2. 卸売物価上昇率はインド政府・金融当局が最も重視する物価指標。

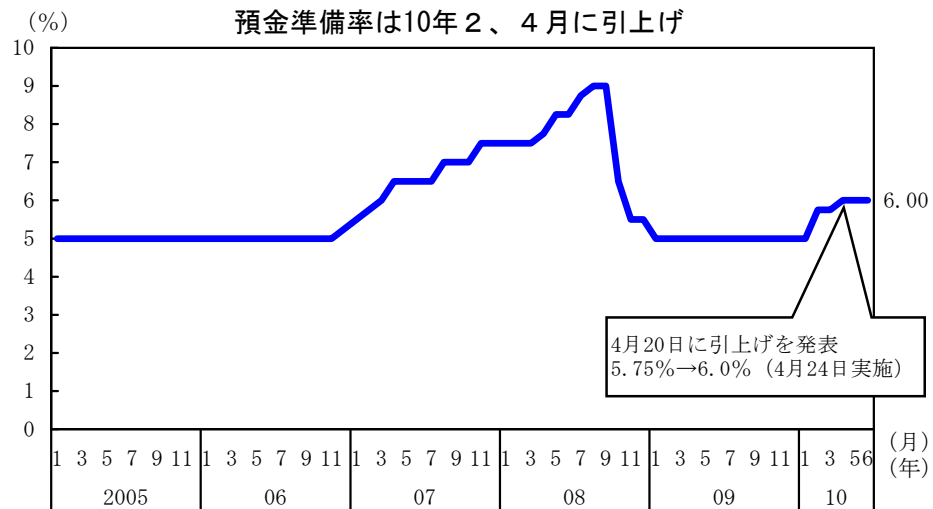
④国内乗用車販売は増加



(備考) 1. インド自動車工業会 (S I A M) より作成。
2. 2009年度販売台数は約195万台。

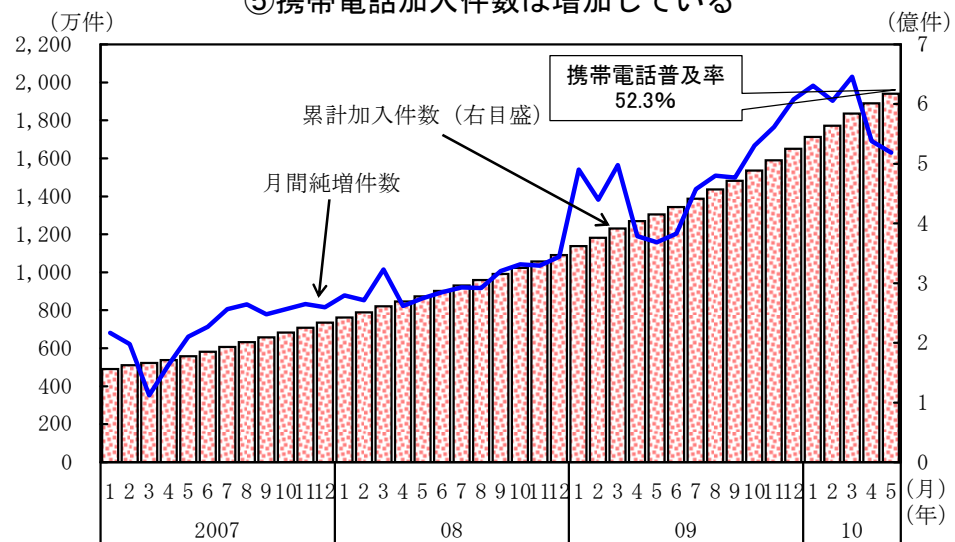
⑥金融政策の動向

預金準備率は10年2、4月に引上げ



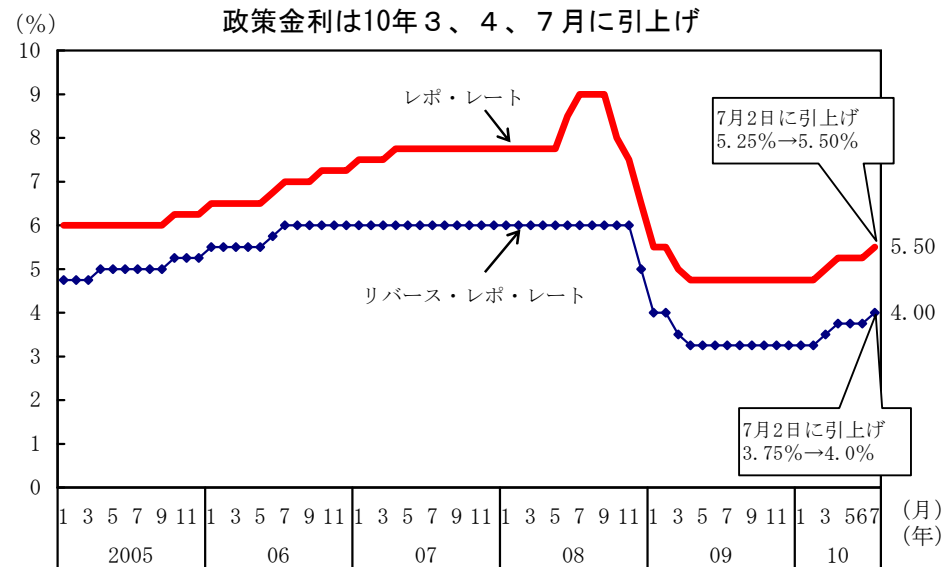
(備考) 1. インド準備銀行 (中央銀行) より作成。
2. 09年10月27日、インド準備銀行 (RBI) は、国内商業銀行が保有しなければならない国債やその他政府指定債券の預金総額に対する比率である「法定流動性比率 (SLR: Statutory Liquidity Ratio)」を1%引き上げて25%とすると発表した (11月7日から実施)。

⑤携帯電話加入件数は増加している



(備考) 1. インド電気通信規制庁 (TRAI) より作成。
2. 日本の携帯電話普及率は、91.0% (10年3月末)。

政策金利は10年3、4、7月に引上げ

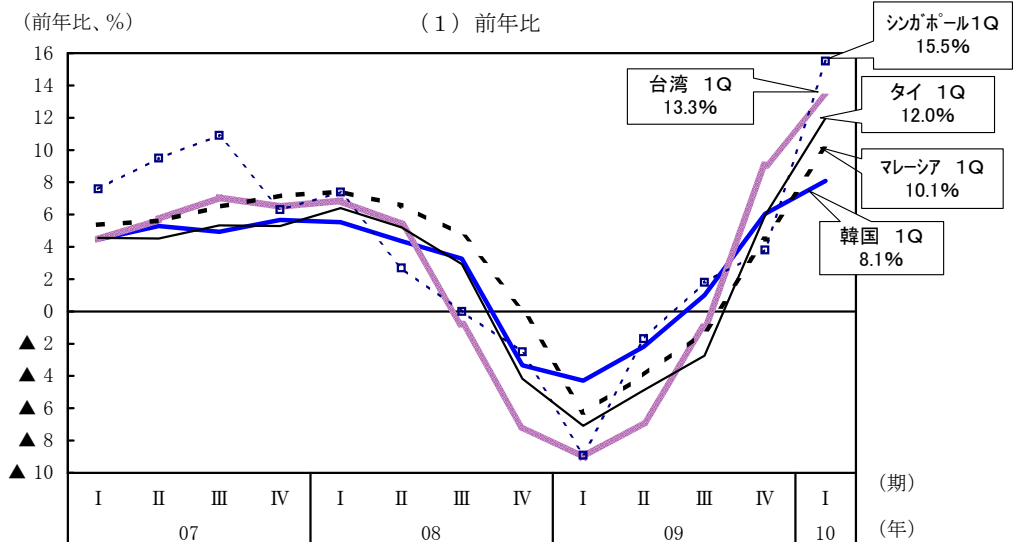


(備考) インド準備銀行 (中央銀行) より作成。

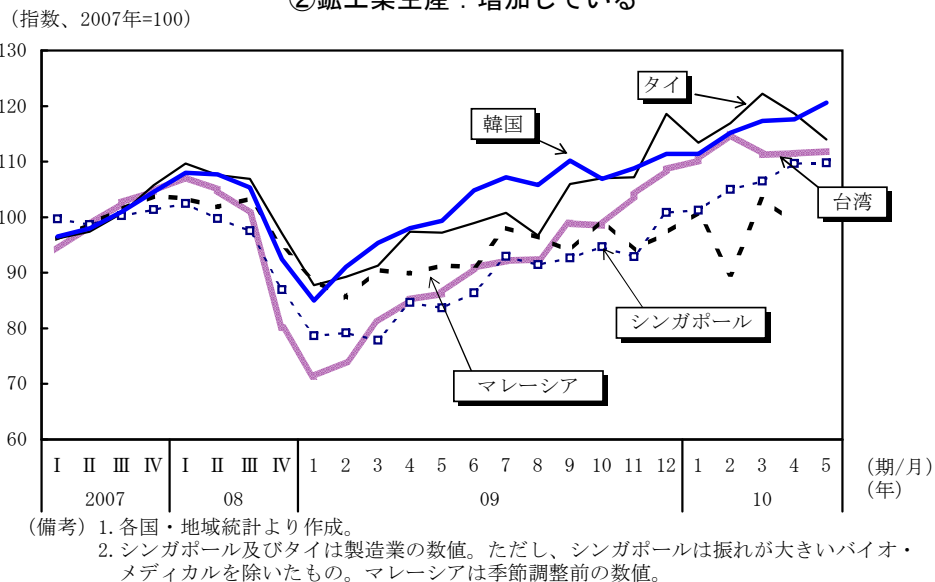
その他アジア地域：

- その他アジア地域では、景気刺激策の効果や中国向け輸出の増加もあり、総じて景気は回復している。
- 先行きについては、引き続き中国向けの輸出が堅調に推移するとみられること等から、回復傾向が続くと見込まれる。
- ただし、欧米等先進国向けの輸出の低迷が続くこと等により、本格的な回復が遅れるリスクがある。

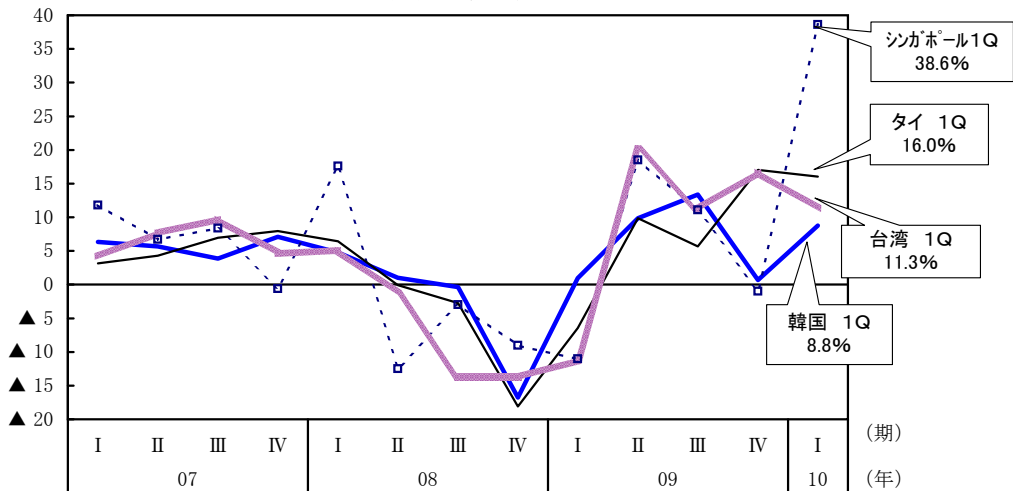
①実質GDP成長率



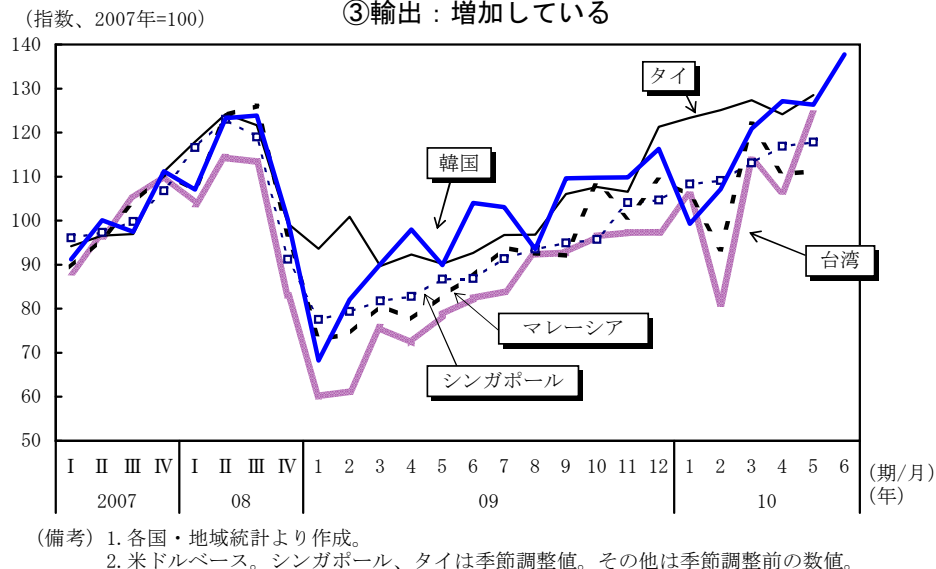
②鉱工業生産：増加している



(2) 前期比年率



③輸出：増加している

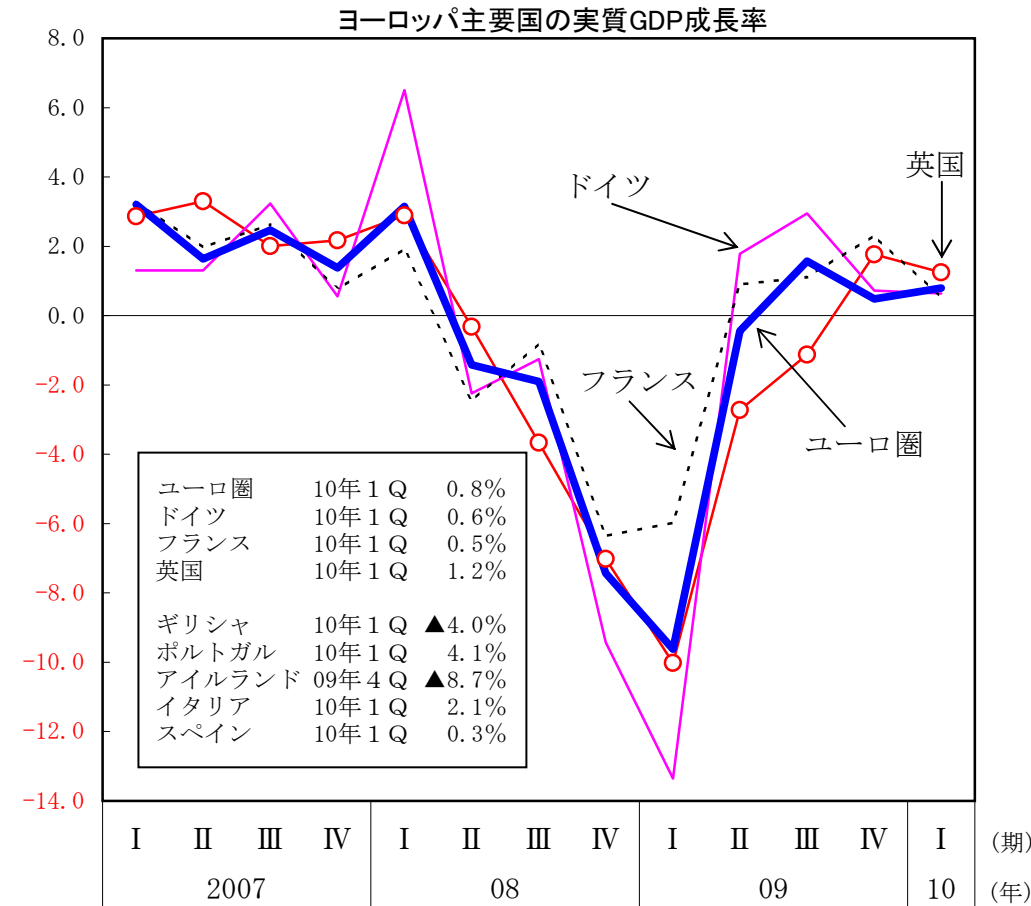


(備考) 各国・地域統計より作成。

3. ヨーロッパ地域

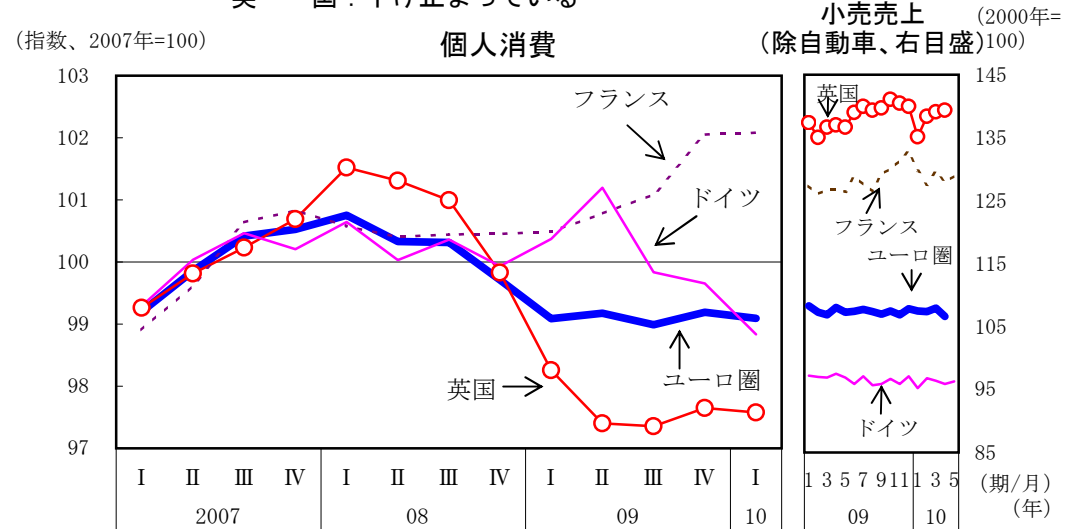
- ヨーロッパ地域では、失業率が高水準であるなど引き続き深刻な状況にあるが、景気は下げ止まっている。
- 先行きについては、基調としては緩やかな持ち直しに向かうと見込まれる。ただし、ギリシャ財政危機により、他のヨーロッパ諸国の財政状況やヨーロッパの金融システムに対する懸念が高まり、金融資本市場の変動が更に深刻化するリスクに留意する必要がある。また、新興国向け貸出の不良債権化による信用収縮や自動車買換え支援策の反動の広がり、雇用の悪化等により、景気が低迷を続けるリスクがある。

① GDP ユーロ圏：2010年1-3月期は前期比年率 0.8%成長
 英国：2010年1-3月期は前期比年率 1.2%成長
 (前期比年率、%)



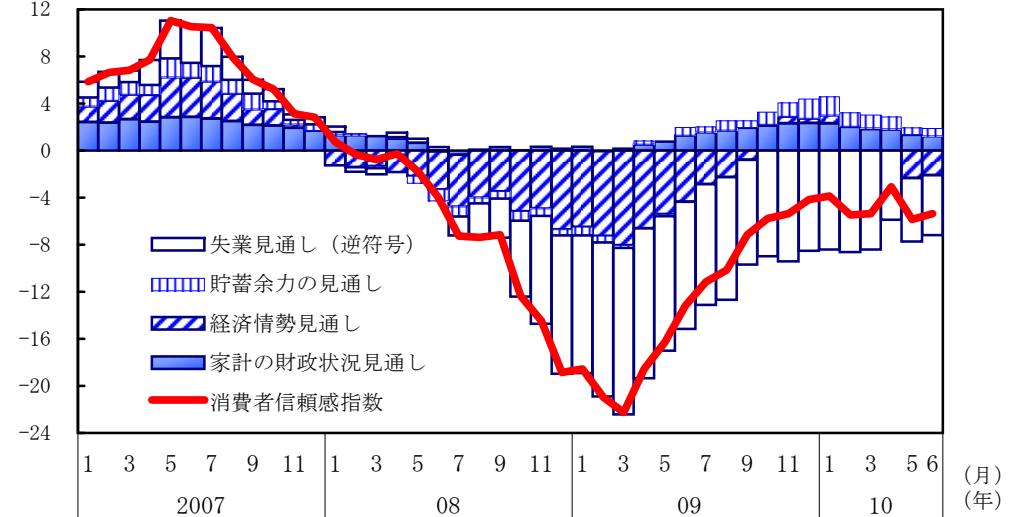
(備考) ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局、ギリシャ政府統計局より作成。

- ② 個人消費 ユーロ圏：弱い動きとなっている
 (ドイツ：減少している)
 (フランス：このところ弱い動きとなっている)
 英国：下げ止まっている



(備考) 小売売上については、ユーロ圏、ドイツ、英国は小売売上数量、フランスは工業製品家計消費支出。

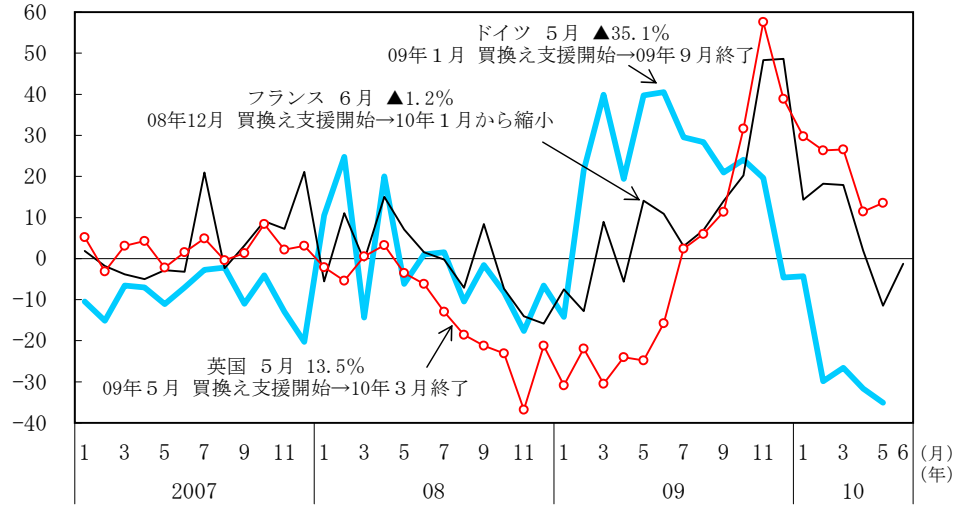
(D. I.、長期平均=0) 消費者信頼感指数(ユーロ圏)の改善は足踏み



(備考) 欧州委員会より作成。今後1年間の見通しにつき尋ねたもの。

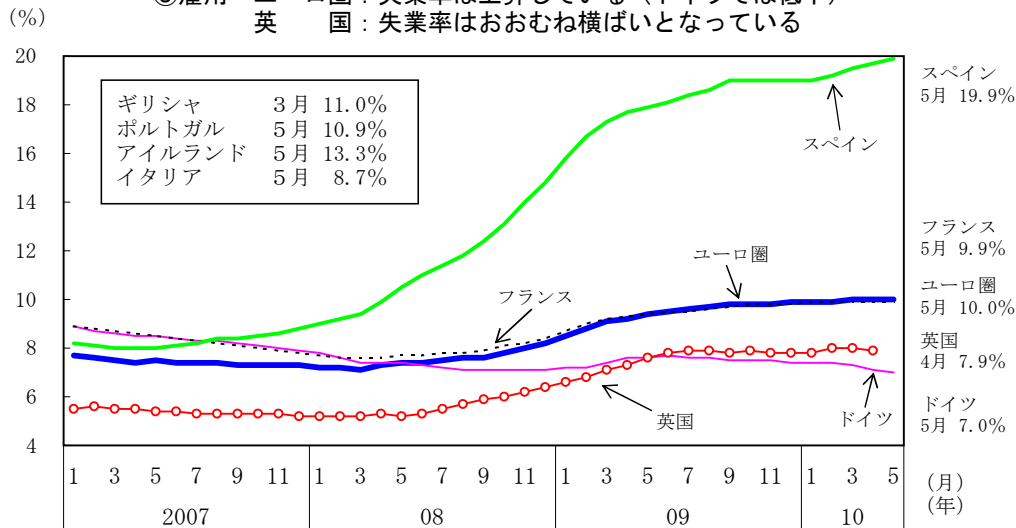
自動車登録台数

(前年同月比、%)



- (備考) 1. ドイツ自動車工業会 (VDA)、フランス自動車工業会 (CCFA)、英国自動車工業会 (SMMT) より作成。
 2. ドイツ: 使用年数9年以上の車から一定のCO2排出基準を満たす環境対応車への買換えに、廃車料の一部として2,500ユーロ (約33万円) を補助。当初の枠は60万台であったが、09年4月8日には200万台に拡大。
 ※09年9月2日に申請件数が予算枠の上限に達したため、申請の受付を締め切った。
 フランス: 使用年数10年以上の車から環境対応車への買換えに1,000ユーロ (約13万円) を補助。
 ※補助額を10年1月1日より700ユーロに、同7月1日より500ユーロに減額して買換え支援を延長。
 英国: 使用年数10年以上の車から新車の買換えに2,000ポンド (約30万円) を補助。
 ※対象を拡大 (使用年数8年以上) し、予算も10万台分追加して計40万台に (10年3月まで)。
 3. 09年の自動車登録台数は、ドイツ381万台、フランス227万台、英国200万台。

③雇用 ユーロ圏: 失業率は上昇している (ドイツでは低下) 英国: 失業率はおおむね横ばいとなっている

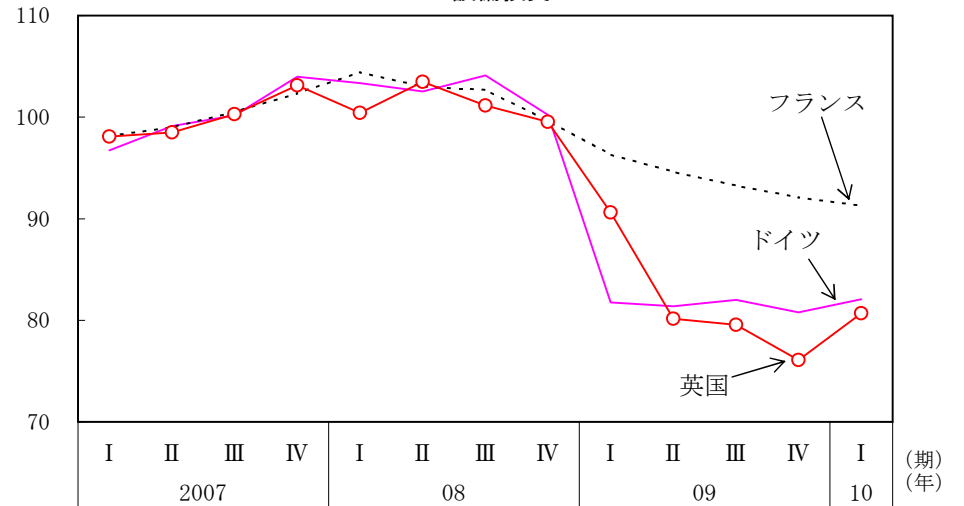


(備考) ユーロスタット (ユーロ圏、ドイツ、フランス、スペイン)、英国統計局より作成。

④設備投資 ドイツ: 機械設備投資は下げ止まっている フランス: 設備投資は減少のテンポが緩やかになっている 英国: 設備投資は下げ止まりつつある

(指数、2007年=100)

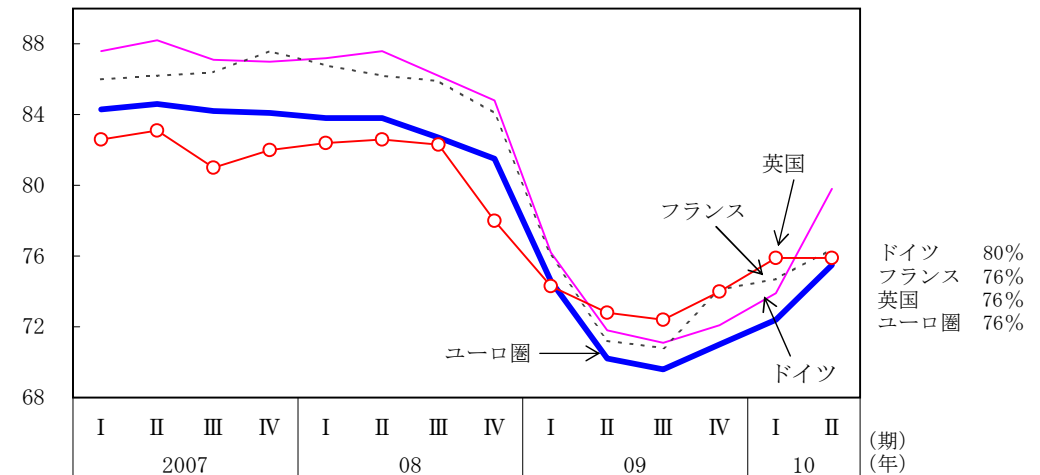
設備投資



(備考) ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。

製造業設備稼働率は持ち直し

(%)

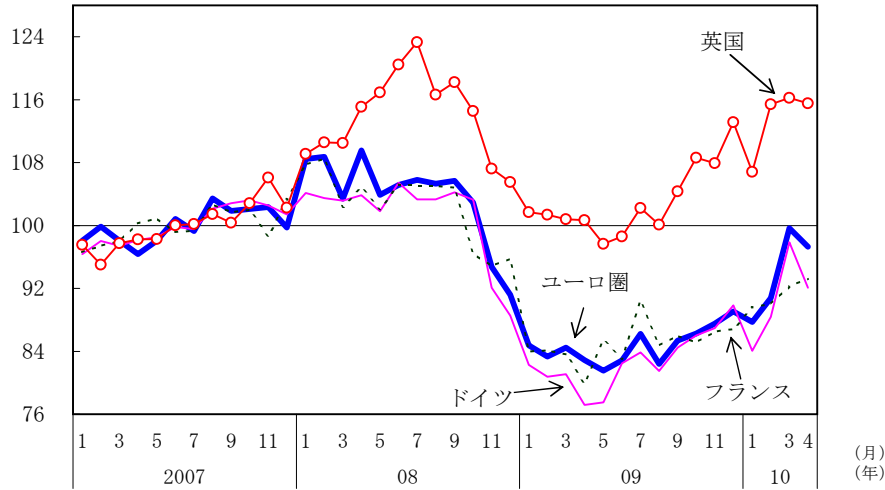


(備考) 欧州委員会より作成。

⑤輸出 ユーロ圏：輸出は増加している
英 国：輸出は増加している

(指数、2007年=100)

輸出額

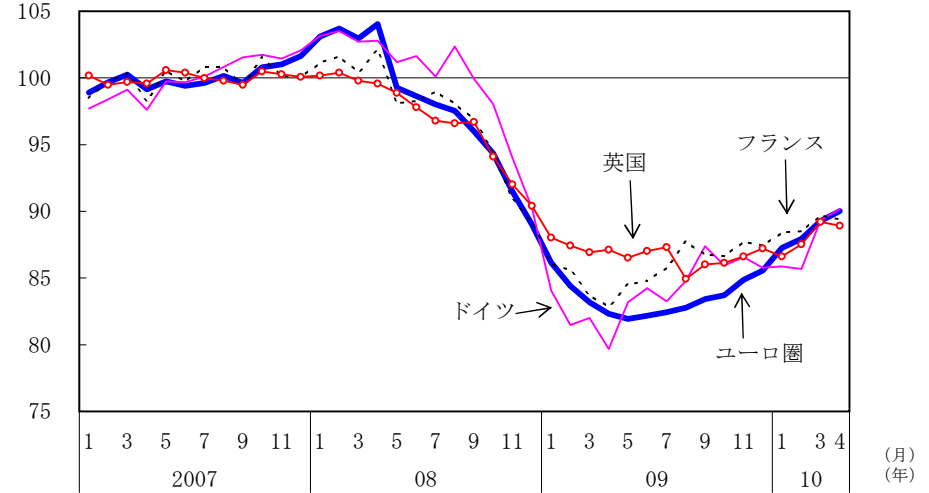


(備考) 1. ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。
2. ユーロ建て及びポンド建て輸出額を指数化したもの。

⑥生産 ユーロ圏：生産は持ち直している
英 国：このところ持ち直している

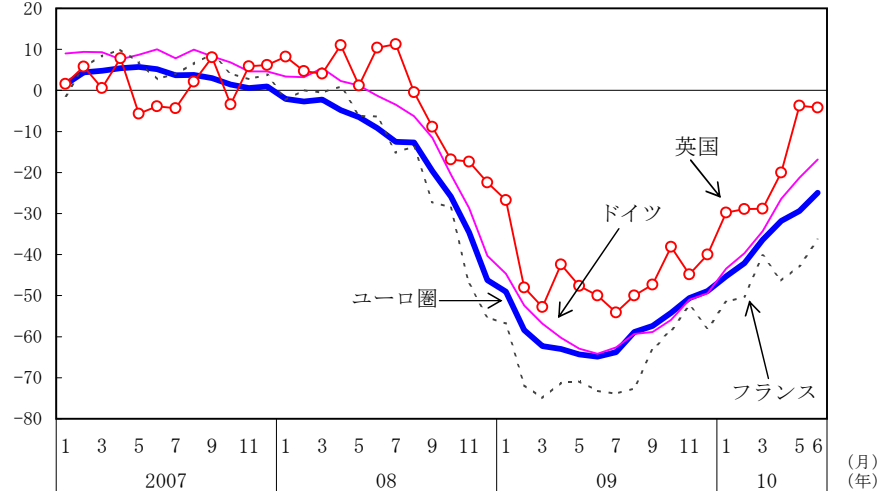
(指数、2007年=100)

鉱工業生産



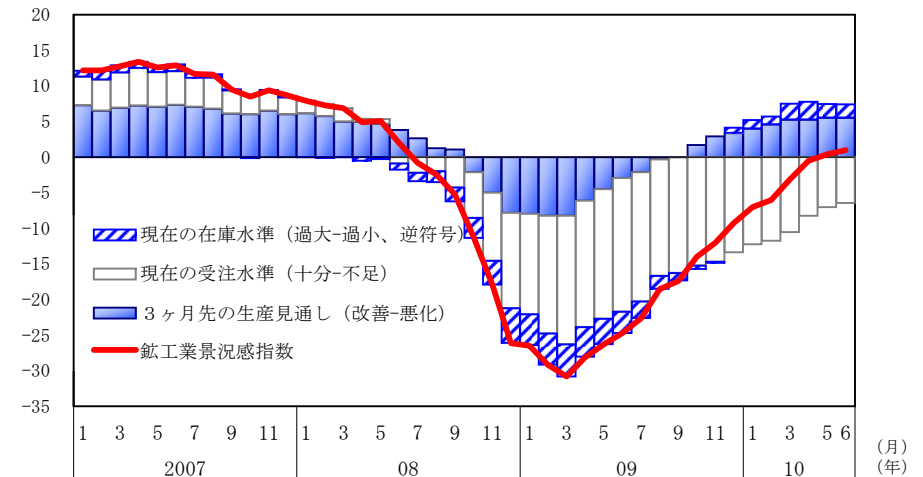
(備考) ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。

(D. I.) 企業の輸出受注判断は持ち直し



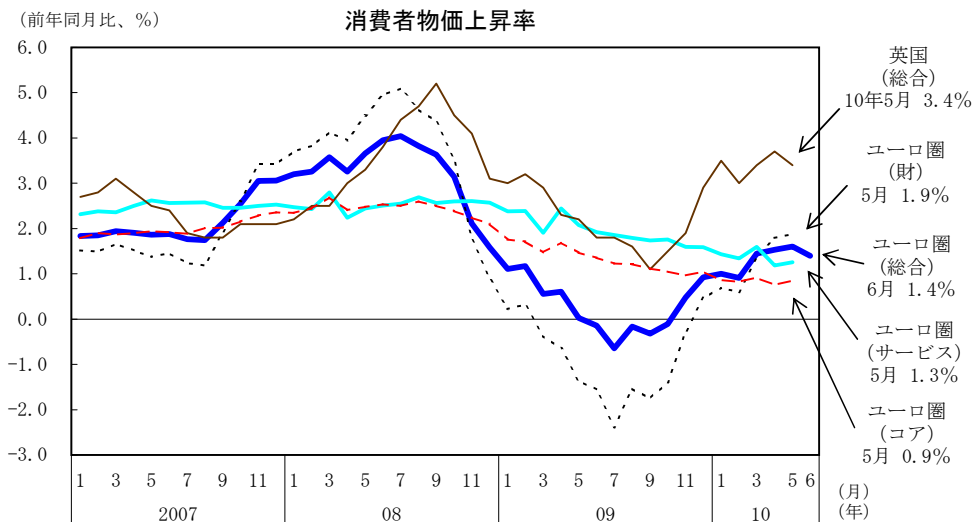
(備考) 1. 欧州委員会より作成。
2. 輸出受注：製造業部門の受注のうち国外分（輸出向け）の受注状況につき、「良い/普通/悪い」を尋ね、回答を「(良い-悪い) /総回答」で指数化したもの。ユーロ圏の指数は、構成国の各指数を加重平均。
3. 指標の改訂により、4月と5月は厳密には接続していない。

(D. I.、長期平均=0) 鉱工業景況感指数（ユーロ圏）は持ち直し



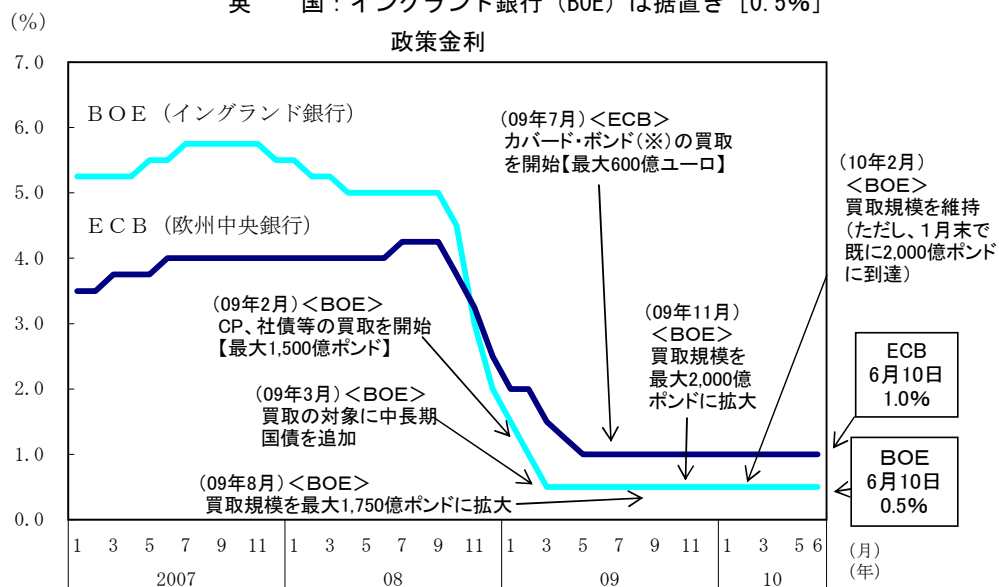
(備考) 欧州委員会より作成。

⑦物価 ユーロ圏：消費者物価上昇率はプラスで推移している
 英国：付加価値税率引上げの影響もあり、消費者物価上昇率は高まっている



(備考) 1. ユーロスタット、英国統計局より作成。
 2. ECBのインフレ参照値は2%を下回りかつ2%近傍。BOEのインフレ目標は2%。
 3. ユーロ圏のコア消費者物価は、総合からエネルギー、生鮮食品を除いたもの。

⑧政策金利 ユーロ圏：欧州中央銀行 (ECB) は据置き [1.0%]
 英国：イングランド銀行 (BOE) は据置き [0.5%]



(備考) 1. 欧州中央銀行 (ECB)、イングランド銀行 (BOE) より作成。
 2. カバード・ボンドとは、金融機関が発行する担保付債券。不動産向けローンや公共セクター向けローン等を担保として発行されることが多い。

⑨財政状況・格付け (南欧、主要先進国)

10年6月14日に、ムーディーズがギリシャ国債の格付けを引下げ

	主要格付け機関による格付け			一般政府財政収支GDP比	一般政府債務残高GDP比
	ムーディーズ	S & P	フィッチ	2009	2009
ポルトガル	Aa2	A-	AA-	▲ 9.4	76.8
イタリア	Aa2	A+	AA-	▲ 5.3	115.8
アイルランド	Aa1	AA	AA-	▲ 14.3	64.0
ギリシャ	Ba1	BB+	BBB-	▲ 13.6	115.1
スペイン	Aaa	AA	AA+	▲ 11.2	53.2
ベルギー	Aa1	AA+	AA+	▲ 6.0	96.7
英国	Aaa	AAA	AAA	▲ 11.5	68.1
ドイツ	Aaa	AAA	AAA	▲ 3.3	73.2
フランス	Aaa	AAA	AAA	▲ 7.5	77.6
日本	Aa2	AA	AA-	▲ 7.2	192.9
アメリカ	Aaa	AAA	AAA	▲ 11.0	83.0

(備考) ブルームバーグ、欧州委員会、OECDより作成。

財政状況・格付け (中・東欧)

	主要格付け機関による格付け			一般政府財政収支GDP比	一般政府債務残高GDP比
	ムーディーズ	S & P	フィッチ	2009	2009
ハンガリー	Baa1	BBB-	BBB+	▲ 4.0	78.3
スロバキア	A1	A+	A+	▲ 6.8	35.7
スロベニア	Aa2	AA	AA	▲ 5.5	35.9
ポーランド	A2	A	A	▲ 7.1	51.0
チェコ	A1	A+	AA-	▲ 5.9	35.4
ルーマニア	-	BBB-	BBB-	▲ 8.3	23.7
ブルガリア	Baa3	BBB	BBB	▲ 3.9	14.8
リトアニア	Baa1	BBB	BBB+	▲ 8.9	29.3
ラトビア	Baa3	BB	BBB-	▲ 9.0	36.1
エストニア	-	A	A-	▲ 1.7	7.2

(備考) ブルームバーグ、欧州委員会より作成。